



向上と進展

[発行所] 公益社団法人 日本学生陸上競技連合
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569



平成25年度を迎えて

会長 保利 耕輔

日本学生陸上競技連合は、昨年4月1日に公益社団法人として生まれ変わり、新法人として1年が経過しました。公益法人としての社会的役割が高まり、さらに、学生アスリートの競技力がますます高まるなかで、本連合の役割も今まで以上に重要視される環境になってきております。

競技会においては、昨年8月に英国・ロンドンにて行われました第30回オリンピック競技大会に、12名の現役学生競技者と、多くのOB・OG競技者が出場し、世界を相手に素晴らしい活躍をいたしました。

今年の7月には、ロシア・カザンにおいて第27回ユニバーシアード競技大会が開催されます。学生代表に決定した男子23名、女子9名の精鋭が、世界を相手に大いに活躍してくれることを願ってやみません。

また、今夏8月には、ロシア・モスクワにおいて、世界陸上選手権大会が開催されます。1人でも多くの学生競技者が代表に選ばれ、世界の桜舞台で活躍してくれることを期待しております。

本年度、本連合では日本陸上競技連盟の協力を得て、世界で活躍できる学生アスリートの育成にも力を入れており、台湾、香港などの国際大会に育成選手を派遣する計画です。インターカレッジにとどまらず、より高い目標を掲げ、関係者一同努力を重ねていかなければならない年となります。

最後になりますが、本年度は、全日本大学女子選抜駅伝競走が復活するなど、多くの競技会が開催されます。ご関係の皆様には、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

公益社団法人 日本学生陸上競技連合 会報 第137号 (平成25年6月10日発行)

向上と進展

目次

平成25年度を迎えて…………… 1

会長 **保利耕輔**

【第27回ユニバーシアード競技大会選手団】

代表選手選考について

強化委員長 **金子今朝秋** …………… 3

【競技会報告】

第48回千葉国際クロスカントリー…………… 6

第27回福岡国際クロスカントリー…………… 7

第16回日本学生ハーフマラソン選手権…………… 8

第16回日本学生女子ハーフマラソン…………… 9

第7回日本学生20km競歩選手権 …………… 9

【会議報告】

第4回理事会議事録……………10

第2回社員総会議事録……………14

第5回理事会議事録……………16

第6回理事会議事録……………17

第3回社員総会議事録……………19

【研修会報告】

学生幹部役員研修会……………21

【資料】

平成25年度予算……………22

平成25年度事業計画……………24

平成24年度事業報告……………26

平成24年度決算書類……………27

平成24年度栄章受章者……………35

【合宿報告】

中国四国学連合宿……………36

【競技委員会より】

2013 日本学生陸上競技個人選手権大会に向けて

競技委員長 **阿保雅行**……………37

会員・編集後記……………39

第27回ユニバーシアード競技大会(2013/カザン) 陸上競技日本代表 役員・選手決定 ～代表選手の選考経緯に関して～

日本学生陸上競技連合理事・強化委員長 **金子今朝秋**

来る7月6日～17日までの12日間(陸上競技は7日～12日の6日間)、カザン/ロシア連邦において第27回ユニバーシアード競技大会が開催されます。2年前の前回大会(深圳/中華人民共和国)と同様に、ハーフマラソン・20km競歩団体を含めて男女25種目を実施されます。

去る11月27日(火)に日本選手団個別折衝を皮切りに日本オリンピック委員会(JOC)からは、我がチームは役員15名(含内AO3名)、選手32名(内男子22名、女子10名)合計47名の派遣枠の通達を受けました。

特に今回は、ロシア連邦で開催されることで渡航査証(VISA)の申請に時間を要する、味の素ナショナルトレーニングセンター(NTC)の1日の受付・処理能力が25名以内、さらに、今年の秋に開催される東アジア大会(JOC派遣)の派遣手続きが5月以降に集中しており、候補選手をリストアップして派遣手続きをするよう強力に指示され、標準記録突破者69名の手続きをさせるなど、事務局もてんでこ舞いの忙しさでした。従来通りの手順、考え方を大幅に変更せざるを得なくなり、事務局をはじめ関係方面に多大なるご迷惑をお掛けいたしました。誌面をお借りして深くお詫び申し上げます。

選考については、本連合の理事会でも承認された代表選手選考規程に従い、標準記録を突破し、指定競技会出場者、また、特例(世界選手権A標準記録突破)をも考慮しながら行いました。選考委員会は、3月17日に松江において第1回を開催し、神戸・広島・静岡と都合4回を開催して5月5日のIAAF-GP(東京)後に最終確認をして本連合会長の承認を経て、JOCの決定をいただきました。

選手団内訳は次頁のとおり、役員15名、選手32名(内男子23名、女子9名)の編成となりました。なお、女子については短距離・ハードル・跳躍などが振るわず、1名を男子に振り分けました。

実際の選考作業では、まず男女ハーフマラソン6名を選考、そして、男女長距離種目(含ハーフマラソン4人目)を決定し、男子4×100mリレーと4×400mリレーのエントリーを決めて選手枠を確保し、他の種目はグランプリ大会の成績結果から検討しました。それぞれの種目の第1位を優先し、メダル・入賞可能な種目は2人目を選考。シーズン開幕早々のビック大会、好不調の影響も見られましたが、現状でのベストメンバーを選びました。

今回のカザン大会は、ヨーロッパ地区開催、約1ヵ月後に世界選手権大会が同じロシア連邦・モスクワで開催されます。地元・ロシア勢をはじめ、ヨーロッパ勢の参加でオリンピックの翌年といえどもレベルの高い競技会になるかと予想されます。我がチームが実績を誇る男女ハーフマラソン個人・団体、男女10000mを中心に男子400mハードル、4×100mリレー、4×400mリレー、さらに100m、200m、やり投でのメダル獲得を目指し、他の種目には入賞を期待しています。

今後、ユニバーシアード競技大会は7月上旬の開催に固定されるという情報もあり、役員・選手選考方法、時期等を十分検討し、手続きのわずらわしさを少しでも軽減し、日本陸上競技連盟の強化委員会ともより一層の連携を取りながら、次世代のチームジャパンを担う選手を一貫した指導体制で育成していくシステムを確立していくことが急務かと考えています。

第27回ユニバーシアード競技大会(2013/カザン) 陸上競技 役員・代表選手

【役員】 2013年5月22日現在

役職	氏名	フリガナ	勤務先	年齢	出身大学	備考
チームリーダー	金子今朝秋	カネコケサトキ		67	順天堂大学	日本学連強化委員長
監督	伊東 輝雄	イトウ テルオ	京都産業大学	67	国士館大学	日本学連強化副委員長
総務	山下 誠	ヤマシタ マコト	玉川大学	50	筑波大学	日本学連強化委員
コーチ	磯 繁雄	イソ シゲオ	早稲田大学	53	早稲田大学	日本学連強化委員
コーチ	栗山 佳也	クリヤマ ヨシナリ	大阪体育大学	57	筑波大学	日本学連強化委員
コーチ	安井 年文	ヤスイトシフミ	青山学院大学	46	筑波大学	日本学連強化委員
コーチ	米田 勝朗	ヨネダ カツロウ	名城大学	45	日本体育大学	日本学連強化委員
コーチ	十倉みゆき	トクラ ミユキ	立命館大学	40	立命館大学	日本学連強化委員
コーチ	清水 茂幸	シミズ シゲユキ	岩手大学	52	筑波大学	岩手大学陸上競技部監督
コーチ	関子 浩二	スシ コウジ	筑波大学	49	筑波大学	筑波大学陸上競技部監督
コーチ	小栗 忠	オグリ タダシ	中央大学	35	中央大学	中央大学陸上競技部監督
ドクター	浦原 一之	カマハラ カズユキ	筑波大学	48	筑波大学	日本学連医事委員長
トレーナー	眞鍋 芳明	マナベ ヨシアキ	国際武道大学	35	筑波大学	日本学連医事委員
トレーナー	加藤 基	カトウ ハジメ	帝京大学	31	筑波大学	日本学連医事委員
トレーナー	阿部美由紀	アベ ミユキ	T.S Serve Trainer Team	34	筑波大学	日本陸連トレーナー委員

【男子選手】

種目	氏名	フリガナ	大学	学年	自己最高記録	主要競技会、国際大会の成績
短距離	山縣 亮太	ヤマガタ リョウタ	慶應義塾大学	3	10.07	ロンドン五輪100m、4×100mR代表 2012日本選手権100m3位 深圳ユニバーシアード200m代表
短距離	与那国 壘	ヨナグニルイ	中京大学	2	10.36	2012日本ジュニア100m6位 ロンドン五輪200m、4×100mR代表 2012日本選手権200m2位 200m日本学生記録保持者 深圳ユニバーシアード200m代表
短距離	飯塚 翔太	イヅカ ショウタ	中央大学	4	20.21	2012日本ジュニア100m、200m優勝 2012日本学生個人400m2位 (大会新)
短距離	橋元 晃志	ハシモト アキユキ	早稲田大学	1	20.35	2012日本ジュニア100m、200m優勝
短距離	木村 淳	キムラ ジュン	中央大学	4	46.00	2012日本学生個人400m2位 (大会新)
短距離	山崎 謙吾	ヤマサキ ケンゴ	日本大学	3	46.17	2012日本IC400m3位
短距離	原 洋介	ハラ ヨウスケ	日本大学	3	20.96	2012関東IC200m20秒96 2012世界ジュニア800m代表 800mジュニア日本記録保持者 2012日本IC800m優勝
中距離	川元 奨	カワモト ショウ	日本大学	3	1.46.89	2011日本IC5000m優勝 2012関東IC5000m3位
長距離	村山 謙太	ムラヤマ ケンタ	駒澤大学	3	28.14.27	2012日本IC5000m優勝
長距離	服部 翔大	ハットリ ショウタ	日本体育大学	4	28.22.79	2012関東IC5000m3位
ハーフマラソン	中村 匠吾	ナカムラ ショウゴ	駒澤大学	3	1.02.41	2013学生ハーフ優勝
ハーフマラソン	蛭名 聡勝	エビナ トシカツ	帝京大学	4	1.02.23	2013学生ハーフ2位、2012学生ハーフ優勝
ハーフマラソン	山岸 宏貴	ヤマギシ ヒロキ	上武大学	4	1.02.51	2013学生ハーフ3位
ハーフマラソン	設楽 悠太	シタラ ヨウタ	東洋大学	4	1.01.48	2012世界大学クロカン2位
障害	大室 秀樹	オオムロ ヒデキ	筑波大学	M1	13.54	2012日本IC110mH2位 2012日本学生個人110mH優勝 (大会新)
障害	記野 友晴	キノ トモハル	福岡大学	M2	49.57	2012日本IC400mH3位
障害	野澤 啓佑	ノザワ ケイスケ	早稲田大学	4	49.15	2012日本IC400mH優勝
競歩	高橋 英輝	タカハシ エイキ	岩手大学	3	1.20.25	2013日本選手権20km競歩4位 2013日本学生20km競歩優勝
跳躍	戸邊 直人	トベナオト	筑波大学	4	2.25	深圳ユニバーシアード走高跳代表 2012日本IC走高跳優勝
跳躍	山本 聖途	ヤマモト セイト	中京大学	4	5.74	ロンドン五輪棒高跳代表 2012日本選手権棒高跳優勝 棒高跳日本学生記録保持者 棒高跳室内日本記録保持者 2012日本IC棒高跳優勝
投てき	堤 雄司	ツツミ ユウジ	国士館大学	M2	58.84	2012日本選手権円盤投優勝 円盤投日本学生記録保持者 2012日本IC円盤投優勝
投てき	ディーン元気	ディーン ゲンキ	早稲田大学	4	84.28	ロンドン五輪やり投代表 深圳ユニバーシアードやり投代表 2012日本選手権やり投優勝 やり投日本学生記録保持者 やり投ジュニア日本記録保持者
投てき	新井 涼平	アライ ヨウヘイ	国士館大学	4	78.21	2012日本選手権やり投3位 2012日本ICやり投優勝

【女子選手】

種目	氏名	フリガナ	大学	学年	自己最高記録	国際大会
長距離	荘司 麻衣	ショウジ マイ	中京大学	2	15.37.55	2012日本IC5000m2位
長距離	鈴木亜由子	スズキ アユコ	名古屋大学	4	15.33.47	2013世界クロカン代表 2012日本IC5000m優勝
長距離	津田 真衣	ツダ マイ	立命館大学	3	32.54.25	2012日本IC10000m3位
ハーフマラソン	上野 泰加	ウエノ ヤスカ	筑波大学	4	1.11.30	2013学生ハーフ優勝
ハーフマラソン	三井 綾子	ミツイ アヤコ	立命館大学	4	1.12.22	2013学生ハーフ2位、2012学生ハーフ2位
ハーフマラソン	奥野有紀子	オクノ ユキコ	京都産業大学	3	1.12.58	2013学生ハーフ3位
ハーフマラソン	鈴木ひとみ	スズキ ヒトミ	玉川大学	3	1.13.05	2013学生ハーフ4位
競歩	前田 浩唯	マエダ ヒロイ	立命館大学	4	1.32.25	2013日本選手権20km競歩3位 2013日本学生20km競歩優勝
投てき	高橋 亜弓	タカハシ アユミ	筑波大学	M2	54.22	2012日本選手権円盤投3位 2012日本IC円盤投優勝

第27回ユニバーシアード競技大会(2013/カザン) 全競技スケジュール

	7月																	Total
	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)					
開会式	★																	
陸上競技			2	6	11	10	7	14									50	
競泳						4	5	5	7	4	7	8	2				42	
サッカー											1	1					2	
バレーボール											1	1					2	
バスケットボール											1	1					2	
テニス											2	5					7	
体操		1	1	2	10												14	
柔道		4	4	4	4	2											18	
卓球							2	1	2	2							7	
レスリング						4	3	4	3	4	3						21	
ボクシング					10												10	
重量挙げ		3	2	2	2	3	3										15	
パドミントン		1				5											6	
フェンシング		2	2	2	2	2	2										12	
フィールドホッケー										1	1						2	
新体操											2	6					8	
飛び込み		2	2		2	2	4										12	
シンクロナイズドミミ			2	2													4	
水球												1	1				2	
ボート			5	8													13	
カヌー										6	18						24	
ビーチバレーボール								1	1								2	
射撃								6	4	4	8	8	4				34	
7人制ラグビー															2		2	
ベルトレスリング			7	5	7												19	
サンボ											6	6	6				18	
チェス												3					3	
閉会式																	★	
Total per day	-	-	27	32	30	44	30	40	17	26	56	40	9				351	

※網掛け部分は競技実施日。
数字は決勝競技開催数 (陸上競技はハーフマラソンと競歩の団体戦を含む)

第27回ユニバーシアード競技大会(2013/カザン) 陸上競技スケジュール

	7/7(日)		7/8(月)		7/9(火)		7/10(水)		7/11(木)		7/12(金)	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
100m	○	○	◎	●								
200m			◎	○	○		◎	●				
400m	○		◎	●								
800m						○			◎			●
1500m		○			●							
5000m							○					●
10000m				●								
ハーフマラソン											●	
110mH							○		◎	●		
400mH			○		◎		●					
3000mSC			○							●		
20kmW					●							
4×100mR									○			●
4×400mR									○			●
走高跳		○				●						
棒高跳										●		
走幅跳								○				●
三段跳	○				●							
砲丸投	○	●										
円盤投							○					●
ハンマー投	○			●								
やり投			○				●					
十種競技			●	●	●	●						
100m	○	○	◎	●								
200m			◎	○	○		◎	●				
400m	○		◎	●								
800m		○	◎	●								
1500m							○					●
5000m							○				●	
10000m		●										
ハーフマラソン											●	
100mH					○		◎	●				
400mH	○			◎	●							
3000mSC			○					●				
20kmW								●				
4×100mR									○			●
4×400mR									○			●
走高跳								○				●
棒高跳		○						●				
走幅跳	○											
三段跳				○						●		
砲丸投							○				●	
円盤投	○			●								
ハンマー投			○					●				
やり投		○					●					
七種競技								●	●	●	●	

AM=午前セッション、PM=午後セッション
●=決勝、◎=準決勝、○=予選 (2次予選含む)

【大会報告】

第48回千葉国際クロスカントリー

第40回世界クロスカントリー選手権大会（3月24日、ポーランド・ビドゴシチ市）の選考を兼ねた第48回千葉国際クロスカントリーは2月10日、千葉県でも有数の総合公園、昭和の森で行われた。東京ドーム23個分という広大な敷地の公園内につくられた、起伏が激しいクロスカントリー独特のコースで熱戦が繰り広げられた。さらに、2月としては暖かい気候と4000人以上の観客などの好条件にも恵まれ多くの大学生選手が活躍を見せた。

男子ジュニア8kmでは箱根駅伝で30年ぶり総合優勝を果たした日本体育大学の1年生・山中秀仁が、

箱根の勢いそのままに日本人トップの2位に入賞。さらに、男子一般12kmでも外国人勢に果敢に挑んだ矢野圭吾ら3名の日体大勢が10位以内に入り、他大学を圧倒する快進撃を見せた。

一般男子4kmでは、昨年の日本学生個人選手権1500mにおいて優勝した中央大学の三宅一輝が、終始トップを譲らない激走で、旭化成の鑑坂哲也らを抑えて優勝を飾った。

一般女子8kmの部は名古屋大学の鈴木亜由子が実業団勢に混じり5位に入り、世界クロカンの代表の切符を手にした。

ジュニア男子8kmで日本人トップの2位に入った日体大の山中秀仁



一般男子4kmで優勝した三宅一輝(中大、手前861)



一般男子12kmで日本人ワン・ツーとなる4位、5位に入った日体大の矢野圭吾(右)と本田匠(中央)。左は3位のヤシン・ハッサン(中央発條)

【大会報告】

第27回福岡国際クロスカントリー

日本学連の共催競技会である第27回福岡国際クロスカントリー大会は2013年2月23日(土)、福岡県の国営海の中道海浜公園クロスカントリーコースを舞台に行われた。朝方は雲が多く肌寒かったものの、昼には日が差し、13時の気温は17.5℃まで上昇、多くの観客が詰めかけた。

海の中道市民クロカンと併催の大会であり、1000人を超える市民ランナーが見守る中、12時50分、シニア女子6kmの部58名が一斉にスタートした。3連覇を狙う新谷仁美(ユニバーサルエンターテインメント)が序盤から積極的なレースを進め、2km手前から独走した。学生陣では、昨年も学生1位を獲得した鈴木亜由子(名古屋大学)が好位置でレースを進めた。鈴木は最後に萩原歩美(ユニクロ)にかわされるも、学生内では他を寄せ付けぬ好走で、全体でも優勝した新谷から38秒遅れの3位(20分38秒)でフィニッシュ。2年連続で日本学生陸上競技連合杯を獲得した。学生2位には福内櫻子(大東文化大学)、同3位には飯野摩耶(東京農業大学)が入った。上位3名の合計順位で争われる学生団体の部では、学生10位以内に3人が入った大東文化大学が1位を獲得、2位に順天堂大学、3位に佛教大学が入った。

13時30分からは、シニア男子10kmの部が、82名の参加で行われた。1kmを過ぎてJFEスチールの

シニア男子10kmの大迫傑(早大、左)は2年連続優勝はならなかったものの、チャールズ・ディランゴ(JFEスチール)に次いで日本人トップの2位に入った



チャールズ・ディランゴと、昨年のこの大会で優勝した大迫傑(早稲田大学)が他の選手を引き離し、優勝争いは序盤から2人に絞られた。5kmを過ぎたあたりからディランゴが大迫をやや引き離したが、大迫も大きく引き離されることはなく、ディランゴと3秒差、優勝した昨年より30秒以上早い29分50秒でフィニッシュ(2位)。こちらも2年連続の日本学生陸上競技連合杯を獲得した。学生2位には上野渉(駒澤大学)、同3位には矢野圭吾(日本体育大学)が入った。学生団体の部では、正月の箱根駅伝で総合優勝を果たした日本体育大学が1位を獲得し、好調ぶりを見せつけた。2位には早稲田大学、3位には大東文化大学が入った。

なお、12時10分から行われたジュニア男子8kmの部では、早生まれのため大学1年ながらジュニアの資格を持つ山中秀仁(日本体育大学)が、24分27秒で日本人1位(2位)を獲得した。

本大会は3月にポーランドで行われる第40回世界クロスカントリー選手権大会の日本代表選手選考会も兼ねており、シニア男子12kmで上野、矢野に加えて本田匠(日本体育大学)、シニア女子8kmで鈴木、ジュニア男子8kmで山中と、学生5名が代表入りした。

シニア女子6kmで3位に食い込んだ鈴木亜由子(名大、右)は、千葉クロカンの続いて学生トップを占めた



【大会報告】

第16回日本学生ハーフマラソン選手権大会

第16回日本学生ハーフマラソン選手権大会は3月3日、立川シティハーフマラソン2013と併催というかたちで、2012年から新しくなった東京・立川市の陸上自衛隊立川駐屯地～国営昭和記念公園コースで行われた。今回より20kmの途中計時が導入され、ハーフマラソンを完走した選手は20kmの記録も公認されるようになった。

空は晴れ渡り気温は暑すぎない、選手にはよい条件の中、9時30分、ハーフマラソンがスタートした。終盤まで10人近くが先頭集団を形成する大混戦の中、1位でフィニッシュテープを切ったのは、駒澤大学2年の中村匠吾。2位には2012年のこの大会で

優勝している蛭名聡勝（帝京大）、3位には山岸宏貴（上武大）が入った。中村は、蛭名の持つ1時間02分23秒の大会記録の更新こそならなかったものの、1時間02分41秒の好タイム。今年も1時間04分00秒以内で40人がフィニッシュするハイレベルなレースとなった。また、完走者も843名と過去最高を数え、学生長距離界のますますのレベルアップにつながる大会であった。

なお、中村・蛭名・山岸は、7月にロシア・カザンで行われる第27回ユニバーシアード競技大会（2013/カザン）のハーフマラソン代表選手に内定した。

第16回日本学生ハーフマラソン選手権大会入賞者 （平成25年3月3日 東京・立川）

●男子ハーフマラソン

①中村 匠吾（駒大）	1時間02分41秒
②蛭名 聡勝（帝京大）	1時間02分49秒
③山岸 宏貴（上武大）	1時間02分51秒
④田井慎一郎（法大）	1時間02分54秒
⑤井上 大仁（山梨学大）	1時間02分58秒
⑥田口 雅也（東洋大）	1時間03分00秒
⑦関口 頌悟（法大）	1時間03分01秒
⑧市田 孝（大東大）	1時間03分04秒



1時間02分41秒の好タイムで優勝した中村匠吾（駒大）

優勝した中村を挟んで左が2位の蛭名聡勝（帝京大）、右が3位の山岸宏貴（上武大）。いずれもユニバーシアードのハーフマラソン代表に内定した



第16回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会

第16回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会は3月17日、第34回まつえレディースハーフマラソンと併催というかたちで、松江城大手前発着のコースで行われた。10時00分現在の気温が約12℃、東北東の風1.0mとまずまずの条件だった。10時02分、実業団選手らも一緒に出走すると、日立製作所のオバレ・ドリカが序盤から独走状態を築いた。学生は66名が出走。その中で、前回優勝の高木綾女（名城大）、前回2位の三井綾子（立命大）らが全体の2位集団、学生1位の集団を形成した。高木が10km持たずに遅れるなど波乱の展開となる中、15km過ぎには学生先頭集団は初ハーフの上野泰加（筑波大）と三井に絞られた。上野は次第に三井を引き離し、最終的には三井に1分近い差をつける1時間11分30秒という好記録で学生ハーフ優勝（まつえレディース2位）。2位には三井、3位には小田切亜希（名城大）が入った。

なお、上野・三井に加え、学生4位に入った初ハーフの奥野有紀子（京産大）が、7月にロシア・カザンで行われる第27回ユニバーシアード競技大会（2013/カザン）のハーフマラソン代表に内定した。



学生1位（総合2位）でフィニッシュした上野泰加（筑波大）

第16回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会入賞者 （平成25年3月17日 島根・松江）

●女子ハーフマラソン

①上野 泰加（筑波大）	1時間11分30秒
②三井 綾子（立命大）	1時間12分28秒
③小田切亜希（名城大）	1時間12分58秒
④奥野有紀子（京産大）	1時間13分05秒
⑤鈴木ひとみ（玉川大）	1時間13分16秒
⑥阪田 愛子（立命大）	1時間13分26秒
⑦芦 麻生（日体大）	1時間13分29秒
⑧折野 加奈（大阪学大）	1時間13分38秒

第7回日本学生20km競歩選手権大会

第7回日本学生20km競歩選手権大会は3月10日、第37回全日本競歩能美大会と併催というかたちで、石川県・能美市営20kmコース（2.0km周回）で行われた。当日の天候は、春を感じさせる非常に暖かい朝を迎えたものの、8時頃から急激に気温が下がり、風雨が強まった。そのような悪条件の中、9時45分に女子20km競歩がスタートした。序盤から、昨年度学生競歩優勝の前田浩唯（立命大）が他の学生を引き離し、そのまま学生2位を8分近く引き離す大差の学生トップ（全体の2位）の1時間32分25秒で2連覇を飾った。風雨と低温で体力を削られ、レース後に倒れこむ選手が続出する中、2位にはこちらも昨年2位に入った岡部文子（埼玉医大）、3位には1年生の根本侑実（東学大）

が入った。

雨が止んで多少天気が回復した11時25分には男子20km競歩がスタートした。序盤から実業団選手の鈴木雄介が日本記録ペースで歩く中、学生では高橋英輝（岩手大）が先頭に立った。高橋は2位を2分近く引き離す1時間22分48秒でフィニッシュ。2位、3位には、ともにびわこ成蹊スポーツ大学の丸尾知司、石田研磨が入った。

第7回日本学生20km競歩選手権大会入賞者 （平成25年3月10日 石川・能美）

●男子20km競歩

①高橋 英輝（岩手大）	1.22.48
②丸尾 知司（びスポ大）	1.24.42
③石田 研磨（びスポ大）	1.24.54
④四戸 敬太（平成国大）	1.24.59
⑤原田 宣行（東洋大）	1.25.32
⑥中坪 章（山梨学大）	1.25.47
⑦伊藤 佑樹（北翔大）	1.26.41
⑧木村 洋介（順大）	1.26.52

●女子20km競歩

①前田 浩唯（立命大）	1.32.25
②岡部 文子（埼玉医大）	1.40.11
③根本 侑実（東学大）	1.40.36
④宮本 美希（千商大）	1.42.09
⑤中原 舞（中部学大）	1.42.30
⑥保坂真里奈（福岡大）	1.42.44
⑦播磨奈々恵（中大）	1.43.06
⑧長谷川 睦（至学館大）	1.44.05

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第4回理事会 議事録

1. 開催日時

平成25年3月2日（土）13時00分～15時07分

2. 開催場所

日本青年館「501会議室」

3. 理事現在数及び定足数

現在数23名 定足数12名

4. 出席者

出席理事 15名

[理事] 保利耕輔、関岡康雄、青葉昌幸、神尾正俊、浅見美弥子、伊東輝雄、金子今朝秋、栗山佳也、三條俊彦、杉田正明、永井 純、永井立子、外園 隆、米谷元捷、和田正信

[監事] 石澤隆夫、黒岩重幸

[オブザーバー] 小坂憲次、岡田 晃、川上将平、緒方信也、板東孝訓、小林亨輔、日本学連幹事および各地区学連学生幹事

5. 議長

保利 耕輔（定款6章第21条第2項）

6. 議案

報告事項

①前回理事会以降の会務の報告

②平成24年に誕生した日本学生記録の報告

③公益財団法人日本陸上競技連盟の会議等の報告

・平成24年度日本陸上競技連盟秩父宮章受章候補者推薦の件

・体罰防止について

・法制委員会（H25-2/13）

・競技運営責任者会議（H25 2/9~2/10）

④全日本大学女子選抜駅伝競走について

⑤日本ユニバーシアード委員会(JUSB)会議等の報告

協議事項

第1号議案 「平成24年度会員入会の承認の件」

第2号議案 「平成25年度事業計画（案）について」

第3号議案 「平成25年度事業予算（案）について」

第4号議案 「平成25年度主催競技会要項（案）の承認の件」

第5号議案 「平成24年度栄章受章候補者の承認の件」

第6号議案 「平成25年度正会員入会承認の件」

第7号議案 「平成25年度学生役員候補者の承認の件」

第8号議案 「第27回ユニバーシアード競技大会役員及び選手選考について」

第9号議案 「男女駅伝出場基本枠の見直しについて」

第10号議案 「日本陸上競技連盟理事候補者について」

第11号議案 「第3回定時社員総会について」

第12号議案 「その他」

①「25年度総務委員会委員変更について」

②「25年度主催事業理事派遣計画」

7. 会議の概要

（1）定足数の確認等

大西事務局長により定足数が確認された。

定款6章第21条第2項により、保利耕輔会長が議長となる。

議事に入る前に保利会長より、小坂憲次氏の紹介があった。

保利会長より、小坂憲次氏に本法人の顧問就任を依頼したい旨の提案があり、全会一致で承認され、小坂氏もその場で就任を承諾した。

承認の後、小坂憲次氏から顧問就任にあたっての挨拶があり、議事に入った。

（2）議案

◆報告事項

①前回理事会以降の会務報告

神尾専務理事より、資料1に基づき報告があった。

②平成24年に誕生した日本学生記録の報告

川上幹事長より、資料2に基づき報告があった。

③公益財団法人日本陸上競技連盟の会議等の報告

各会議について、参加者より報告があった。

・平成24年度日本陸上競技連盟秩父宮章受章候補者推薦の件

神尾専務理事より、日本学生陸上競技連合から、近藤勲 九州学生陸上競技連盟会長を推薦した旨、報告があった。

・体罰防止について

永井立子理事より、体罰問題に関して、日本学生陸上競技連合としては、日本陸連の指導に準ずるとい意思を示した、との報告があった。

・法制委員会（H25-2/13）

大西法制委員より、会議内容の報告があった。

・体罰の問題について、日本陸連で2010年に改定した倫理規定を協力団体においても有効利用してほしい旨依頼があった。日本学連事務局もホームページを利用して倫理規定を掲載、活用する。

・海外遠征の際、大学のユニフォームのロゴが競技会における広告および展示物に関する規程で定めているサイズより大きいという指摘を受けたという事例が報告されている。国内と海外では規定の適用が異なるので、大学名/ロゴの入ったユニフォームを着用して海外の競技会又は国内におけるIFの大会等に参加する際は、注意するようにとのことであった。

・日本陸連の法制委員会は、今後メディアとの協調によってマーケティングの推進に寄与していく。日本学連もその重要性を認識し、体制を整えていく。

・競技運営責任者会議（H25-2/9～2/10）

板東常任幹事より、会議内容の報告があった。

・2012年日本陸連主催競技会報告

・2013年度競技規則修改正

・不正スタートに関する基準の改正

・市民マラソンガイドライン

・その他

神尾専務理事より、第40回世界クロスカントリー選手権大会（ポーランド・ビドゴシチ）の学連にかかわる選手・役員の紹介があった。

・ジュニア男子コーチ 別府健至氏（日本体育大学）

・シニア男子 矢野圭吾さん・本田匠さん（日本体育大学）

・シニア男子 上野涉さん（駒澤大学）

・シニア女子 鈴木亜由子さん（名古屋大学）

・ジュニア男子 山中秀仁さん（日本体育大学）

④全日本大学女子選抜駅伝競走について

神尾専務理事より、以下のとおり、報告があった。

・日本学連では、本年12月31日開催に向け、静岡県・富士市・富士宮市の地元行政、フジテレビと一丸となって努力を続けている。特に静岡陸協の鈴木会長がリーダーシップを取り、大きな力となって開催に向けて尽力いただいている。

・開催が決定した場合には、東海学連に運営協力をお願いしたい。

・静岡の大学女子選抜駅伝大会とは別に、栃木県の日光の任意団体から学生女子駅伝に関するアンケートが各チーム宛て実施されたようだが、日本学連は全く関知していない。各地区学連においては、適切な対応をお願いしたい。

⑤日本ユニバーシアード委員会（JUSB）会議等の報告

永井純理事より、2月19日に開催の会議について、資料3に基づき報告があった。今回のロシア・カザンの大会では、ビザ取得・出場選手のメディカルチェック等、手続きに時間を要するので、各競技団体においては、早く選手を決定する対策をとってほしい。JOCからは、今回だけでなく、ユニバーシアード競技大会の開催時期が7月初旬に定着しつつあるので選考方法を今後考えなければならない。

・ユニバーシアード大会が無い年に、世界大学選手権大会があり、陸上競技では、クロスカントリー大会が実施されている。2012年はポーランドで開催され、日本は男女で団体優勝をした。来年はウガンダで予定されているが、その次の開催国として、日本にも打診が来ている。

◆協議事項

第1号議案 「平成24年度会員入会の承認の件」

神尾専務理事より、資料4に基づき、提案があり、審議の結果承認された。

第2号議案 「平成25年度事業計画（案）について」

神尾専務理事より、資料5に基づき、提案があり、審議の結果承認された。

第3号議案 「平成25年度事業予算（案）について」

神尾専務理事より、資料6に基づき、提案があった。

本議案に対し、以下の質疑応答があった。

永井立子理事：旅費交通費予算が、2012年度予算から750万円増となっているが、どのような理由か。
神尾専務理事：カザン・ユニバーシアード競技大会の選手選考・選手団派遣等に係る交通費増が見込まれるため、予算額を増額した。
黒岩監事：給与手当が減っているが、これまでどおりの運営ができるのか。
神尾専務理事：事務局員が1名減となり、無理をお願いすることになるが、ご理解・ご協力をお願いしたい。

審議の結果、提案どおり、承認された。

第4号議案 「平成25年度主催競技会要項(案)の承認の件」

金子理事・強化委員長から資料7に基づき、提案があった。
日本インターカレッジは、国立競技場との調整がつき、9月6日(金)～8日(日)の3日間開催が可能になった。
大学女子選抜駅伝・学生女子ハーフマラソンは交渉中のため、期日が未定となっている。
また、金子理事・強化委員長より、本年実施の日本インターカレッジに関して、以下の2点、提案があった。
・男女400m R予選、男女10000m決勝等を5日(木)の夕方に実施することが可能か検討。
・C標準(地区インターカレッジ優勝者)については、82回大会においては従来通り実施するが、83回大会以降について検討。

本議案に対し、以下の意見・質疑応答があった。

黒岩監事：各大会で参加料が異なるか、統一はできないのか。
神尾専務理事：共催の大会等は、関係団体と交渉して参加料を設定しているので、全て同一の参加料にすることは難しい問題である。

●実学対抗

青葉副会長：関東学連の箱根駅伝予選会が同日開催となる。ご承知いただきたい。

●学生女子ハーフ

関岡副会長：引き続き、開催日を早めることができるよう交渉をしている。
和田理事：黄砂や粉じん等が基準を越えた場合、大会実施の可否はどのように判断するのか。
関岡副会長：併催のかたちをとっている競技会においては主催者の決定に従う。

●大学駅伝

45回大会においてシード権を8位までにするか否かの検討について
関岡副会長：主催者であるテレビ局の意見として、シードを2校増やした場合、8位まで放送時間内に入らない可能性があり、慎重になっている。
伊東理事：大学駅伝のシード権・表彰の順位については、テレビ中心の考えではなく、学生競技者の技能向上を念頭をお願いしたい。

●日本インカレ

岡田総務副委員長：本年の9月1日～8日までの期間、東京国体にむけた資格審査を行うことになっている。東京陸協の役員が多く(その中には日本学連の委員を兼務している方も含まれる)が資格審査担当となっているので、東京陸協の運営協力は今までと比べ厳しいということを認識し、対策を取らなければならない。

審議の結果、課題は引き続き検討することとし、平成25年度主催競技会要項を承認した。

第5号議案 「平成24年度栄章受章候補者の承認の件」

神尾専務理事より、資料8に基づき、提案があり、審議の結果承認された。

第6号議案 「平成25年度正会員入会承認の件」

神尾専務理事より、資料9に基づき、提案があり、審議の結果承認された。

第7号議案 「平成25年度学生役員候補者の承認の件」

川上幹事長より、資料10に基づき、提案があった。

第3回理事会提案資料からの変更点として、緒方信

也幹事長、板東孝訓副幹事長としている。

(前回提案の学生役員の任期は平成25年1月1日から平成25年3月31日までであり、今回提案の(前回提案との変更)の任期は、平成25年4月1日から、平成25年12月31日までである)

審議の結果、承認された。

第8号議案 「第27回ユニバーシアード競技大会役員及び選手選考について」

金子理事・強化委員長より、資料11に基づき提案があり、審議の結果、承認された。

第9号議案 「男女駅伝出場基本枠の見直しについて」

金子理事・強化委員長より、資料12に基づき、提案があり、審議の結果、この提案のとおり、地区出場枠を決定した。

第10号議案 「日本陸上競技連盟理事候補者について」

神尾専務理事より、永井立子氏を候補者として推薦する提案があり、審議の結果、承認された。

第11号議案 「第3回定時社員総会について」

神尾専務理事より、資料13に基づき提案があり、審議の結果、承認された。

第12号議案 「その他」

①平成25年度総務委員会委員変更について」
神尾専務理事より、資料14に基づき提案があり、審議の結果、承認された。

②平成25年度主催事業理事派遣計画」
神尾専務理事より、資料15に基づき提案があり、審議の結果、承認された。

③その他、以下の意見があった。
永井立子理事：大学女子選抜駅伝に関しては、選手や運営する学生のことを考えて、12月31日以外の日程を検討していただきたい。

関岡副会長：大学女子選抜駅伝に関しては、関係団体間との調整が未だに折り合わないでいる。両者

にとってよいものであるようにしたい。

関岡副会長：体罰・暴力問題に関しては、日本学連としても、各大学に対し、再発防止を促す指針、問題がおきた場合の対応を掲げるべきではないか。
保利会長：今後、継続して検討する事項として扱う。

以上をもって議案の審議等を終了。15時07分、議長は閉会を宣し、解散した。

8. 議事録作成者

大森智仁 大西清司

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第2回定時社員総会 議事録

1. 開催日時
平成25年3月2日（土）15時23分～16時13分

2. 開催場所
日本青年館「501会議室」

3. 正会員現在数及び定足数
現在数134名 定足数68名

4. 出席者
本人出席 42名
委任出席 63名
計105名

5. 議長
保利 耕輔（定款第4章第16条第1項）

6. 出席理事・監事
[理事] 保利耕輔、関岡康雄、青葉昌幸、神尾正俊、浅見美弥子、伊東輝雄、金子今朝秋、栗山佳也、三條俊彦、杉田正明、永井 純、永井立子、外園 隆、米谷元捷、和田正信
[監事] 石澤隆夫、黒岩重幸

7. 議案
協議事項
第1号議案 「平成25年度事業計画書（案）」
第2号議案 「平成25年度事業予算書（案）」
第3号議案 「その他」

報告事項
①「前回総会以降の会務」
②「平成24年度会員入会について」
③「平成25年度主催競技会要項について」
④「平成24年度栄章受章者について」
⑤「平成25年度正会員入会について」
⑥「平成25年度学生役員について」
⑦「27回ユニバーシアード競技大会について」
⑧「男女駅伝出場基本枠について」

⑨「平成24年に誕生した日本学生記録について」
⑩「その他」

8. 会議の概要
（1）定足数の確認等
冒頭、大西事務局長が定足数の充足を確認した。定款第4章第16条第1項に基づき、保利耕輔会長が議長なり、開会の挨拶があった。
・先ほどの理事会で、小坂憲次参議院議員が本法人の顧問に任命された旨の報告があった。

議事録署名人は、定款第4章第20条第2項に基づき、議長（保利耕輔会長）と、杉田正明会員、長野史尚会員を指名し、審議に入った。

（2）議案
◆協議事項
第1号議案 「平成25年度事業計画」
神尾専務理事より、資料1に基づき、説明があり、審議の結果、承認された。

第2号議案 「平成25年度事業予算」
神尾専務理事より、資料2に基づき、説明があった。

高岡会員：事業計画の中で調整中とあった競技会については、予算はどのように配分されているのか。
神尾専務理事：現時点では配分されていないので、開催が決定した段階で予算の組み替えを行う。

審議の結果、承認された。

第3号議案 「その他」
なし
◆報告事項
①「前回総会以降の会務」
神尾専務理事より、資料3に基づき、報告があった。

②「平成24年度会員入会について」
神尾専務理事より、資料4に基づき、報告があった。

普通会員は、平成23年度の実績よりも317名の増となっている旨、報告があった。

③「平成25年度主催競技会要項について」
金子強化委員長より、資料5に基づき、報告があった。保利会長より、できるだけ各地区学連ではこの日程と重複しないようにしていただきたい旨の発言があった。

④「平成24年度栄章受章者について」
神尾専務理事より、資料6に基づき、報告があった。

⑤「平成25年度正会員入会について」
神尾専務理事より、資料7に基づき、報告があった。

⑥「平成25年度学生役員について」
川上幹事長より、資料8に基づき、幹事長交代・副幹事長就任の報告があった。

⑦「27回ユニバーシアード競技大会について」
金子強化委員長より、報告があった。
JOCから、選手32名（男子22名、女子10名）、役員12名の内示をいただいている。アディショナルオフィシャルの3名は現在申請中である。
男女のハーフマラソン代表は3月中に内定・記者発表を行う。その他の種目は、5月のゴールデングラプリまでに決定する。

⑧「男女駅伝出場基本枠について」
金子強化委員長より、資料9に基づき、報告があった。

⑨平成24年に誕生した日本学生記録について
川上幹事長より、資料10に基づき、報告があった。

⑩その他
神尾専務理事より、日本陸連に関する内容として、以下の報告があった。
・平成24年度日本陸上競技連盟秩父宮章受章候補者に、九州学連会長の近藤勲氏を推薦した。また、日本学連からの推薦ではないが、日本陸上競技連盟功労章候補者に丸山吉五郎氏が推薦された。
・日本陸上競技連盟理事候補者に、永井立子理事を推薦した。

その他、以下の質疑応答があった。
大森会員：総務委員会委員の入れ替え等に関する決定の手順について質問があり、今後、トラブルを避けるためにも、事前に委員会を開催するよう依頼があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時13分、議長は閉会を宣し、解散した。

9. 議事録作成
大森智仁、大西清司

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第5回理事会 議事録

I. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

【議案1】平成24年度事業報告の承認

【議案2】平成24年度収支決算書類等の承認

(1) 貸借対照表

① 秩父宮妃記念基金を基本財産へ

従来、秩父宮妃記念基金の10,000,000円は特定資産として計上していたが、基本財産に移すこととした。

② ユニバーシード引当資産を取り崩して流動資産へ
特定資産にある、ユニバーシード引当資産23,000,000円を取り崩し、流動資産として扱うこととした。

③ 24年度、新たに特定費用準備資金として、将来の特定の活動実施のため、次の4科目を特定資産に計上することとした。

ア. ユニバーシード派遣事業積立資産8,000,000円

イ. 創立90周年事業積立資産1,500,000円

ウ. 日本インカレ90回記念大会積立資産1,000,000円

エ. ニューカレドニア遠征積立資産2,000,000円

④ その他決算書類

ア. 上記以外の貸借対照表の内容について

・退職給付引当資産

予算通り300,000円積み増しし、2,300,000円とした。

・賞与引当資産

平成12年12月～平成13年3月までの分を6月支給予定の賞与引当金として計上することとした。

・国際交流引当資産8,000,000円および競技会事業引当資産20,000,000円については、従来から必要なものとして積み立てられたことから、特定資産としての問題は特に無いと判断し、引き続き計上することとした。

イ. 正味財産増減計算書

ウ. 正味財産増減計算書内訳表

エ. 財産目録

オ. 財務諸表に対する注記

カ. 付属明細書

II. 理事会の決議があったものとみなされた事項の提案をした理事の氏名

会長 保利耕輔

III. 理事会の決議があったものとみなされた日

平成25年5月11日（土）

IV. 議事録の作成に係わる職務を行った理事の氏名 専務理事 神尾正俊

V. 理事総数23名の承認書

VI. 監事総数2名の異議が無いことを証する書類

平成25年5月8日、理事保利耕輔が理事の全員および監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき平成25年5月11日までに理事の全員から書面により承認の意思表示を、また監事から文書により、異議がない旨の意思表示を得たので、一般法人法第181条に基づく当連合理事会の招集決定を、同法96条に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

公益社団法人日本学生陸上競技連合

第6回理事会 議事録

1. 開催日時

平成25年5月25日（土）12時58分～14時51分

2. 開催場所

日本青年館「502会議室」

3. 理事現在数及び定足数

現在数23名 定足数12名

4. 出席者

出席理事14名

【理事】 関岡康雄、神尾正俊、阿保雅行、伊東輝雄、金子今朝秋、栗山佳也、澤木啓祐、三條俊彦、杉田正明、永井 純、藤井邦夫、米谷元捷、和田正信、片峯 隆

【監事】 黒岩重幸

【オブザーバー】 岡田 晃、緒方信也、板東孝訓、小林亨輔、日本学連幹事および各地区学連学生幹事

5. 議長

関岡 康雄（代表理事である関岡副会長を選任）

6. 議案

【報告事項】

①前回理事会以降の会務の報告 【資料1】

②平成24年度事業報告及び決算の承認について【資料2】

③第27回ユニバーシード陸上チームについて【資料3】

【協議事項】

第1号議案

「定款・規程の改正について」 【資料4～6】

第2号議案

「平成25年度会員入会の承認について」 【資料7】

第3号議案

「平成25年度競技会日程未確定部分について」【資料8】

第4号議案

「平成25年度各駅伝申込期日について」 【資料9】

第5号議案

「全日本大学女子駅伝コース及び中継点について」 【資料10】

第6号議案

「第82回日本インカレ9/5（木）の対応について」【資料11】

第7号議案

「2013年全日本大学女子選抜駅伝競走について」【資料12】

第8号議案

「中華台北陸上協会大学チームの個人選手権大会参加の件」

第9号議案

「海外遠征について(5/27.28 中華台北、7/2.3 香港)」【資料13】

第10号議案

「全日本大学男・女駅伝大会のシードについて」

7. 会議の概要

(1) 定足数の確認等

大西事務局長により定足数が確認された。

会長欠席により、代表理事である関岡康雄副会長が議長に選任される。

(2) 議 案

◆報告事項

①前回理事会以降の会務報告

神尾専務理事より、資料1に基づき報告があった。

②平成24年度事業報告及び決算の承認について
神尾専務理事より、資料2に基づき報告があった。

関岡議長：法令の関係上、5月11日に書面により第5回理事会を行った旨、補足説明。

「決議の省略」により全理事から平成24年度事業報告及び決算の承認を得た。

③第27回ユニバーシード陸上チームについて

金子理事より、資料3に基づき報告があった。

関岡議長：JOCの女子枠は10名であり、うち1枠を男子に移動したことをご理解いただきたい。

澤木理事：32名エントリー中、女子が少なく、かつ長距離に偏りがあるのではないかと。

金子理事：短距離・障害を中心に不調が続き、長距離中心のチーム編成になった。できるだけU-23等の遠征に女子選手も選出しているが、ユニバーシードにおいては、JOCが求める成績のバーが高いこともあり難しい。

澤木理事：現状を打破するよう努力していただきたい。

④その他

○大学ユニフォームのロゴについて

神尾専務理事より、国際ルールが適用される大会においては、広告物等に関する規程4-1-2-7に従うよう、地区学連へ指導の依頼があった。

◆協議事項

第1号議案 「定款・規程の改正について」

神尾専務理事より、資料4～6に基づき以下の通り提案があった。

【資料4】定款

社員総会の開催を5月から6月に変更。事業報告及び収支決算に関する理事会と社員総会は、2週間以上間隔あけて開催しなくてはいけないことが法令により決まっている。そのため、決算書作成のスケジュールを考えると、6月初旬の開催が適切であると考える。

【資料5】役員候補選出会議規程（案）

来年度役員改選に向け、選出に関する規程の作成が必要。公益財団法人公益法人協会の専門官のアドバイスを受け、案を作成した。

第5条について、以下の質疑応答があった。

澤木理事：会長推薦は半数を超えないほうがよいのではないかと。

関岡議長：規定されている理事数18名～23名の範囲のもと、運用面で配慮し、調整していく。

【資料6】就業規則

学連と契約している社会保険労務士のアドバイスにより、現状に合った改正指導があった。

資料4から資料6までの提案に対し、審議の結果、承認された。

第2号議案 「平成25年度会員入会の承認について」

神尾専務理事より、資料7に基づき提案があり、審議の結果承認された。

第3号議案 「平成25年度競技会日程未確定部分について」

神尾専務理事より、資料8に基づき提案があり、審議の結果承認された。

第4号議案 「平成25年度各駅伝申込期日について」

神尾専務理事より、資料9に基づき提案があった。出雲全日本大学選抜駅伝競走の申込期日については、審議の結果、9月24日(火)正午までの方針で出雲市と

調整することとなった。他2大会については、審議の結果、資料の通りで承認された。

第5号議案 「全日本大学女子駅伝コース及び中継点について」

神尾専務理事より、資料10に基づき提案があった。神尾専務理事より、第31回大会のコース変更及び第2区から第3区の中継所を仙台市立宮城野小学校前に変更、調整中である旨報告された。これらにつき、審議の結果、承認された。

第6号議案 「第82回日本インカレ9/5(木)の対応について」

神尾専務理事・金子理事より、資料11に基づき提案があった。

澤木理事：前回4日間開催が失敗したのは、競技日程の間隔が空きすぎていたため。前日に行うのも経費面からすると4日間開催と変わらないのでは。競技運営を迅速に行わなければ、観客が減るなどの問題が生じる。

金子理事：前回は4日間を有効に使えなかったが、3日間だとインターバルなく出場する選手も出てくる、かつ長距離種目時にフィールド種目が中断する等の問題があるので、3日開催にしたいと考えた。

永井理事：当初の方針の通り、あくまで3日間開催で行い、開会式は金曜日、木曜開催は日程的に付録的な位置づけにすべきだ。

澤木理事：夜遅くまで行うことで、3日間開催のみでできないか。木曜日に種目を行うとしても、10000mのみを希望する。

阿保理事：4×400mRを木曜日に行うことで、400m、400mHの準決勝を行うことができ、強化につながる。また、3日間開催では、400m系を兼ねる競技者の負担が大きい。また、3日間開催で、早朝から夜遅くまで競技役員を拘束するのは限界にきているので2交代制等の対応が必要になる。

澤木理事：競技役員はそれほど早朝に来る必要があるのか。競技役員の拘束時間が長すぎるのではないかと。また、地方の大学の経済的負担を考慮すべきである。

伊東理事：短距離系のコーチ団から要望を受けており、今ここで決定することはできない。

関岡議長：意見を加味して、実行案・妥協案の検討をすすめてほしい。

審議の結果、継続して迅速に検討を進めることとなった。

第7号議案 「2013年全日本大学女子選抜駅伝競走について」
神尾専務理事より、資料12に基づき報告があった。2013年は、12月23日(月・祝)開催が承認された。澤木理事：今後も23日開催を希望。年始に駅伝が集中している上にさらに年末開催するのはいかがなものか。

関岡議長：フジテレビジョンの意向が重要であるが、来年の実施については今後検討していく。

永井理事：高低差が大きく、40kmという長距離であるため、女子選手6人では走れないのではないかと。距離を短くしてほしい。

神尾専務理事：高低差はそれほど無く、現行のまま提案したい。

伊東理事：25チームでの開催を希望。女子駅伝に注力するチームが増えたため。単独校数を増やしてほしい。

関岡議長：参加チームを増やすのは、練り上げにしながらやすい、かつチーム編成できないチームも該当してくるのではないかと。今後検討していく。

第8号議案 「中華台北陸上協会大学チームの個人選

公益社団法人日本学生陸上競技連合 第3回定時社員総会 議事録

1. 開催日時

平成25年5月25日(土)15時08分～16時08分

2. 開催場所

日本青年館「502会議室」

3. 正会員現在数及び定足数

現在数134名 定足数68名

4. 出席者

本人出席 40名 委任出席 63名 計103名

5. 議長

関岡 康雄(定款第4章第16条第1項)

6. 出席理事・監事

[理事] 関岡康雄、神尾正俊、阿保雅行、金子今朝秋、

手権大会参加の件]

神尾専務理事より、今年度も日本学生陸上競技個人選手権大会に台北チームを招聘する旨、提案があり、審議の結果承認された。

第9号議案 「海外遠征について(5/27.28 台北、7/2.3 香港)」

神尾専務理事・金子理事より、資料13に基づき提案があり、審議の結果承認された。

第10号議案 「全日本大学男・女駅伝大会のシードについて」

神尾専務理事より、現在8位シードと出場チーム2枠増について、全日本大学女子駅伝対校選手権大会のシード数増加については実行員会において承諾を得ているが、2チーム増については、継続審議となっているとの報告があった。また、男子については、シードと出場チーム追加については、セットではなく、別々に継続審議となっている旨報告があった。審議の結果、継続して調整していくこととした。

以上をもって議案の審議等を終了。14時51分、議長は閉会を宣し、解散した。

澤木啓祐、永井 純、藤井邦夫、伊東輝雄、栗山佳也、三條俊彦、杉田正明、米谷元捷、和田正信、片峯 隆

[監事] 黒岩重幸

7. 議案

[協議事項]

第1号議案

「平成24年度事業報告及び決算の承認について」【資料1】

第2号議案

「定款 第14条 社員総会(開催)」変更について 【資料2】

[報告事項]

①「前回総会以降の会務」 【資料3】

②「平成25年度会員入会について」 【資料4】

③「第27回ユニバーシアード競技会陸上チームについて」

【資料5】

- ④「第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会について」
【資料6】
- ⑤「2013年全日本大学女子選抜駅伝競走について」
【資料7】
- ⑥「海外遠征について(5/27.28 中華台北 7/2,3 香港)」
【資料8】
- ⑦「中華台北陸上協会大学チームの個人選手権大会
参加の件」
- ⑧「全日本大学男・女駅伝大会のシードについて」
- ⑨「第82回日本インカレ9/5(木)の対応について」
- ⑩「役員候補選出会議規程について」 【資料9】
- ⑪「平成25年度競技会日程未確定部分について」
【資料10】
- ⑫「その他」

8. 会議の概要

(1) 定足数の確認等

冒頭、大西事務局長が定足数の充足を確認した。定款第4章第16条第1項に基づき、関岡康雄副会長が議長となり、開会の挨拶があった。

議事録署名人は、定款第4章第20条第2項に基づき、議長(関岡康雄副会長)と、宇佐美彰朗会員、永井純会員を指名し、審議に入った。

(2) 議案

◆協議事項

第1号議案 「平成24年度事業報告及び決算の承認について」

神尾専務理事より、資料1に基づき提案が、また、黒岩監事より、監査報告があり、審議の結果、承認された。

第2号議案 「定款 第14条 社員総会(開催)変更について」

神尾専務理事より、資料2に基づき、提案があった高岡会員：社員総会を6月開催とすることについて、法令上の問題はないのか。

神尾専務理事：内閣府への提出が6月末日なので6月中にまとめられれば問題ない。

審議の結果、承認された。

◆報告事項

①「前回総会以降の会務」

神尾専務理事より、資料3に基づき、報告があった。

②「平成25年度会員入会について」

神尾専務理事より、資料4に基づき、報告があった。

③「第27回ユニバーシアード競技会陸上チームについて」

金子強化委員長より、資料5に基づき、報告があった。

④「第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会について」

神尾専務理事より、資料6に基づき、報告があった。

⑤「2013年全日本大学女子選抜駅伝競走について」

神尾専務理事より、資料7に基づき、報告があった。

⑥「海外遠征について(5/27.28 中華台北 7/2,3 香港)」

神尾専務理事より、資料8に基づき、報告があった。

⑦「中華台北陸上協会大学チームの個人選手権大会参加の件」

神尾専務理事より、今年度も、日本学生陸上競技個人選手権大会に台北チームが参加する旨、報告があった。

⑧「全日本大学男・女駅伝大会のシードについて」

神尾専務理事より、以下の通り報告があった。男子については、シード8校、出場枠2枠増加を目指して調整中である。女子については、シード8校については実行委員会において了解をいただいた。

出場校2校追加は継続して調整を行っていく。

⑨「第82回日本インカレ9/5(木)の対応について」

金子理事より、9/5に競技を行うかどうか検討中である旨の報告があった。

⑩「役員候補選出会議規程について」

神尾専務理事より、資料9に基づき、報告があった。

⑪「平成25年度競技会日程未確定部分について」

神尾専務理事より、資料10に基づき、報告があった。

⑫その他

神尾専務理事より、国際ルールが適用される大会においては、広告物等に関する規程4.1-2.7に従うよう、報告があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時08分、議長は閉会を宣し、解散した。

平成25年度学生幹部役員研修会

平成25年度学生幹部役員研修会は、2月28日～3月2日の3日間に亘って公益社団法人日本学生陸上競技連合(以下、日本学連)、各地区学生陸上競技連盟の新三役を集めて日本青年館(東京・新宿区)を主会場として行われた。

1日目、正午過ぎに日本青年館に集合した一同は、今年の9月に行われる第82回日本学生陸上競技対校選手権大会の主会場となる国立競技場の見学を行った。見学では、諸室等を隅々まで見せてもらうことができ、大会開催に向けてイメージを膨らませることができる貴重な機会となった。その後は日本青年館に戻り、学連業務に関わる研修、そしてグループワークを行った。このグループワークは、5人ほどのグループになって事前にいくつか準備した陸上競技に関する問題を考えて、翌日に10分程度のパワーポイントにまとめて発表するという形式で、約2時間の時間が設けられた。なお、グループによっては空いた時間を見つけて更に作業を行っているグループもあり、少しでもより良いものをつくりたいという熱意を感じた。

2日目は、主に学連業務に関する研修、そして前日のグループワークの発表が行われた。なお、学連業務に関する研修の一環として行われた2月に行われた全国競技運営責任者会議の報告の中では、今年度大きくルールが改正された「不正スタート」についての説明について長く時間が割かれた。とても複雑なルールではあるものの、競技会を運営する学連

の立場としては正確にルールを把握することは不可欠なことであり、全員がしっかりと理解することで、ルールに則った競技運営につなげてもらいたい。また、夜には懇親会が行われ、お互いの学連の理解を深めるとともに、同じ志を持つ仲間としての絆を深めることができる良い機会となった。

3日目は、まず各部署からの講習というかたちで「アナウンサー」「医事・アンチドーピング」「記録」「スターター」の4部署についての講習が、競技委員会、医事委員会の先生方を招いて行われた。普段担当したことがない部署などを理解する機会となり、より陸上競技全体に対する理解を深めることにもつながったと思われる。そして研修会の最後には、日本学連の保利耕輔会長にお話をいただく時間が設けられた。現在は衆議院議員を務められている保利会長ご自身の陸上競技に携わってきたお話や衆議院議員として現在どのようなことをされているのか等、様々なお話を聞くことができ、この上ない貴重な機会となった。

3日間に亘って行われた平成25年度学生幹部役員研修会は、各学生にとって大変実りのあるものになったと思われる。これから、ここで得た様々なものを各自が更に向上・進展させることこそ研修会の目的であると同時に、それがより良い競技会の運営にもつながっていくと考えられる。今後ともこのような研修会を通して、学生陸上競技の更なる発展に貢献していきたいと考えている。



研修会の最後に日本学連の保利耕輔会長(前列中央)を囲んで写真に納まった学生幹部役員

平成25年度正味財産増減予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日まで

公益社団法人日本学生陸上競技連合

(単位：円)

	公益目的事業会計 (内訳表)				公益目的事業 会計合計	法人 会計	内部取引 控除	平成25年度 予算合計 (A)	平成24年度 予算 (C)	増減 (A-C)
	公1	公2	公3	共通						
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	7,500	7,500	7,500	0	15,000	15,000	0
基本財産利息	0	0	0	7,500	7,500	7,500	0	15,000	15,000	0
特定財産運用益	0	0	0	80,000	80,000	0	0	80,000	80,000	0
特定財産利息	0	0	0	80,000	80,000	0	0	80,000	80,000	0
受取会費	0	0	600,000	16,730,000	17,330,000	16,630,000	0	33,960,000	33,360,000	600,000
正会員受取会費	0	0	0	330,000	330,000	330,000	0	660,000	660,000	0
普通会員受取会費	0	0	0	16,200,000	16,200,000	16,200,000	0	32,400,000	32,400,000	0
賛助会員受取会費	0	0	0	200,000	200,000	100,000	0	300,000	300,000	0
陸上競技研究受取会費			600,000	600,000	600,000			600,000	0	600,000
受取補助金	0	0	0	100,000	100,000	0	0	100,000	100,000	0
受取補助金	0	0	0	100,000	100,000	0	0	100,000	100,000	0
事業収益	58,280,000	6,200,000	50,000	0	64,530,000	0	0	64,530,000	62,500,000	2,030,000
受取協賛金	25,800,000	6,200,000	0	0	32,000,000	0	0	32,000,000	31,500,000	500,000
受取協力金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放映料	16,800,000	0	0	0	16,800,000	0	0	16,800,000	16,000,000	800,000
受取参加料	6,180,000	0	0	0	6,180,000	0	0	6,180,000	6,500,000	△ 320,000
受取広告金	1,400,000	0	0	0	1,400,000	0	0	1,400,000	1,500,000	△ 100,000
入場料等売上	8,100,000	0	50,000	0	8,150,000	0	0	8,150,000	7,000,000	1,150,000
受取負担金	5,100,000	450,000	0	0	5,550,000	0	0	5,550,000	6,900,000	△ 1,350,000
受取負担金	5,100,000	450,000	0	0	5,550,000	0	0	5,550,000	6,900,000	△ 1,350,000
受取寄付金	3,400,000	0	1,100,000	10,000	4,510,000	0	0	4,510,000	6,010,000	△ 1,500,000
受取寄付金	0	0	0	10,000	10,000	0	0	10,000	10,000	0
受取助成金	3,400,000	0	1,100,000	0	4,500,000	0	0	4,500,000	6,000,000	△ 1,500,000
雑収益	20,000	0	0	285,000	305,000	0	0	305,000	310,000	△ 5,000
受取利息	0	0	0	10,000	10,000	0	0	10,000	10,000	0
雑収益	20,000	0	0	275,000	295,000	0	0	295,000	300,000	△ 5,000
経常収益計	66,800,000	6,650,000	1,750,000	17,212,500	92,412,500	16,637,500	0	109,050,000	109,275,000	△ 225,000

	公益目的事業会計 (内訳表)				公益目的事業 会計合計	法人 会計	内部取引 控除	平成25年度 予算合計 (A)	平成24年度 予算 (C)	増減 (A-C)
	公1	公2	公3	共通						
(2) 経常費用					0			0		
事業費	73,838,000	17,468,500	7,361,500	0	98,668,000	14,382,000	0	113,050,000	109,275,000	3,775,000
給料手当	4,950,000	900,000	450,000	0	6,300,000	2,700,000	0	9,000,000	11,500,000	△ 2,500,000
雑給	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000	300,000	0
法定福利費	605,000	110,000	55,000	0	770,000	330,000	0	1,100,000	1,200,000	△ 100,000
会議費	1,602,000	1,735,500	133,500	0	3,471,000	979,000	0	4,450,000	3,800,000	650,000
旅費交通費	27,375,000	7,500,000	375,000	0	35,250,000	2,250,000	0	37,500,000	30,000,000	7,500,000
通信運搬費	570,000	390,000	30,000	0	990,000	510,000	0	1,500,000	1,500,000	0
印刷製本費	5,100,000	120,000	120,000	0	5,340,000	660,000	0	6,000,000	6,200,000	△ 200,000
水道光熱費	140,000	60,000	0	0	200,000	200,000	0	400,000	400,000	0
食糧費	3,168,000	432,000	0	0	3,600,000	0	0	3,600,000	3,300,000	300,000
消耗品費	1,820,000	812,000	28,000	0	2,660,000	140,000	0	2,800,000	3,200,000	△ 400,000
備品費	22,000	40,000	0	0	62,000	38,000	0	100,000	200,000	△ 100,000
賃借料	7,620,000	635,000	0	0	8,255,000	4,445,000	0	12,700,000	11,500,000	1,200,000
リース料	208,000	832,000	0	0	1,040,000	260,000	0	1,300,000	1,700,000	△ 400,000
諸謝金	84,000	1,204,000	112,000	0	1,400,000	0	0	1,400,000	3,800,000	△ 2,400,000
表彰費	1,566,000	234,000	0	0	1,800,000	0	0	1,800,000	1,900,000	△ 100,000
医務費	560,000	140,000	0	0	700,000	0	0	700,000	500,000	200,000
渉外費	300,000	500,000	0	0	800,000	200,000	0	1,000,000	1,000,000	0
委託費	3,333,000	505,000	5,757,000	0	9,595,000	505,000	0	10,100,000	9,800,000	300,000
租税公課	800,000	0	0	0	800,000	800,000	0	1,600,000	1,600,000	0
支払負担金	13,248,000	864,000	288,000	0	14,400,000	0	0	14,400,000	14,600,000	△ 200,000
雑費	767,000	455,000	13,000	0	1,235,000	65,000	0	1,300,000	1,275,000	25,000
経常費用計	73,838,000	17,468,500	7,361,500	0	98,668,000	14,382,000	0	113,050,000	109,275,000	3,775,000
当期経常増減額	△ 7,038,000	△ 10,818,500	△ 5,611,500	17,212,500	△ 6,255,500	2,255,500	0	△ 4,000,000	0	
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,038,000	△ 10,818,500	△ 5,611,500	17,212,500	△ 6,255,500	2,255,500	0	△ 4,000,000	0	
一般正味財産期首残高								0	0	
一般正味財産期末残高	△ 7,038,000	△ 10,818,500	△ 5,611,500	17,212,500	△ 6,255,500	2,255,500	0	△ 4,000,000	0	
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額								0	0	
指定正味財産期首残高								0	0	
指定正味財産期末残高								0	0	
III 正味財産期末残高	△ 7,038,000	△ 10,818,500	△ 5,611,500	17,212,500	△ 6,255,500	2,255,500	0	△ 4,000,000	0	

公益社団法人日本学生陸上競技連合 2013年度(平成25年度)事業計画

(事業目的)

公益社団法人日本学生陸上競技連合(以下、「この法人」という)は、日本の学生陸上競技界を統括し、かつ代表する学生の競技団体として、学生陸上競技の普及・振興を図り、学生の心身の健全な発達と明るく豊かな学生生活の形成に寄与することを目的とする法人である。

(基本方針)

以上を目的とし、本年度は次の3点を軸に事業計画を策定した。

- (1) 学生陸上競技に関する競技会を円滑に開催する。
- (2) 学生陸上競技界の競技力向上を図るため、競技者の国際競技会への派遣及び外国の学生競技者の国内競技会への招致を積極的に推進する。
- (3) 陸上競技の普及・振興を図るため、関係団体と協力し競技者が快適に競技に取り組むことが出来る環境の整備を推進する。

■公益目的事業

公1ー競技会

No.	競技会	期日	場所	種目数	参加校・参加数	備考
1	2013日本学生陸上競技個人選手権大会	2013年 6月21日(金) ～23日(日)	Shonan BMW スタジアム平塚	男子18 女子18	120校…700名 110校…600名	スポーツ振興基金助成金を申請
2	天皇賜盃第82回 日本学生陸上競技対校選手権大会	2013年 9月6日(金) ～8日(日)	国立競技場	男子22 女子22	115校…850名 120校…750名	【表彰】天皇賜盃(男子総合優勝) 秩父宮妃杯(女子総合優勝) スポーツ振興基金助成金を申請
3	第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走	2013年 10月14日(月・祝)	出雲市 44.5km 全6区間		国内…23チーム 海外…1チーム	【後援】文部科学省(予定) 【表彰】内閣総理大臣杯(予定)(優勝校) 文部科学大臣賞(予定)(優勝校) →申請予定
4	秩父宮賜杯第53回 実業団・学生対抗陸上競技大会	2013年 10月19日(土)	平塚市 Shonan BMW スタジアム平塚	男子10 女子9		【後援】文部科学省(予定) 【表彰】秩父宮賜杯(総合優勝) 内閣総理大臣杯(予定)(総合優勝) 文部科学大臣杯(予定)(男子団体優勝) 厚生労働大臣賞(予定)(女子団体優勝) →申請予定
5	第31回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会	2013年 10月27日(日)	仙台市 全6区間		(25)校+1チーム (東北学連選抜)	【後援】文部科学省(予定) 【表彰】文部科学大臣杯(予定)(優勝チーム) →申請予定
6	秩父宮賜杯第45回 全日本大学駅伝対校選手権大会	2013年 11月3日(日)	名古屋-伊勢 106.8km 全8区間		(25)校+1チーム (東海学連選抜)	【後援】文部科学省(予定) 【表彰】文部科学大臣杯(予定)(優勝チーム) →申請予定
7	2013全日本大学女子選抜駅伝競走	2013年 12月23日(月・祝)	富士市 富士宮市		未定	
8	第17回 日本学生ハーフマラソン選手権大会	2014年 3月2日(日)	立川市		1200名	
9	第8回日本学生20km競歩選手権大会	2014年 3月9日(日)	能美市		男子…80名 女子…30名	
10	第17回 日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	2014年 3月16日(日)	松江市		100名	

公2ー育成 ①競技者育成(競技会派遣)事業

No.	競技会等	期日	場所	備考
1	第27回ユニバーシアード競技大会	2013年7月7日 (日)～12日(金)	カザン(ロシア)	男子…22名 女子…10名 役員…12名 アディショナルコーチ3名(予定) ※日本陸連U23費用でヨーロッパ転戦の設定も検討
2	2013国際千葉駅伝	2013年11月23日 (金・祝)	千葉市	男子…4名 女子…4名 役員…3名
3	第49回千葉国際クロスカントリー大会	2014年2月9日 (日)	千葉市	【主催】公益財団法人日本陸上競技連盟 →共催として参画
4	第28回福岡国際クロスカントリー大会	2014年2月22日 (土)	福岡市	【主催】公益財団法人日本陸上競技連盟 →共催として参画

公2ー育成 ②競技者・指導者・審判育成事業

No.	競技会等	期日	場所	備考
1	競技力向上のための巡回指導	3回	各地	
2	競技者育成費用負担	2大会		北日本インカレ30万円、西日本インカレ50万円
3	ドーピング・コントロールテスト	4回	各地	公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構及び 公益財団法人日本陸上競技連盟との連携により競技会検査を実施
4	新規B級審判員資格認定	各地区で 講習会を実施	各地	1,400名(男子…1,000名 女子…400名)
5	学生審判員研修会	4回	各地	
6	第59回指導者会議	未定	未定	

公3ー調査・研究

No.	競技会等	期日	場所	備考
1	陸上競技の研究調査	年4回		「陸上競技研究」の発行(くじ助成金申請)
2	第12回陸上競技学会	年1回		共催として参画
3	第59回指導者会議	未定	未定	
4	2012年日本学生記録集の発行 (記録年鑑)	2013年3月		1,000部発行(くじ助成金申請) 学生50傑、主催大会、関連競技会

■法人管理部門

組織力管理

No.	競技会等	期日	場所	備考
1	理事会	年3回	未定	臨時理事会を行う場合もある
2	定時社員総会	年2回	未定	臨時社員総会を行う場合もある
3	第39回学生幹部役員研修会	年1回 2～3月	未定	
4	会報の刊行	年3回		各回1,000部(正会員、名誉会員、役員、地区学連加盟校に配布) 内容 会議議事録等
5	ホームページの運営	随時		日本学連公式ホームページ・携帯サイトの運営
6	会員の入会受付	2013年度		正会員…135名 普通会員(学生)…19,000名(男子…14,000名 女子…5,000名) 名誉会員…50名 賛助会員…50名

公益社団法人日本学生陸上競技連合 2012年度(平成24年度)事業報告

(1) 公1 (競技会)

No.	競技会	期日	場所	種目数	参加校・参加数	備考
1	2012日本学生陸上競技個人選手権大会	2012年 6月22日(金)～24日(日)	平塚市総合公園 平塚競技場	男子18 女子18	97校…553名 103校…565名	日本学生新(1種目) 大会新(16種目)
2	天皇賜盃第81回 日本学生陸上競技対校選手権大会	2012年 9月9日(日)～12日(水)	国立競技場	男子22 女子22	107校…903名 111校…742名	男子優勝校 日大(124点) 女子優勝校 筑波大(120点) 大会新(2) スポーツ振興基金助成金事業
3	第24回出雲全日本大学選抜駅伝競走	2012年10月8日(月・祝)	出雲市 44.5km 6区間		国内…20チーム 海外…1チーム	優勝 青学大 2時間09分41秒(大会新) 2位 東洋大 2時間11分10秒 ※優勝チームには内閣総理大臣杯、文部科学大臣賞を授与
4	秩父宮賜杯第52回 実業団・学生対抗陸上競技大会	2012年10月14日(日)	小田原市 城山陸上競技場	男子10 女子10	53名(オープン0名) 54名(オープン1名)	実業団 207点 男子 97.5点 女子 109.5点 学生 184点 男子 95点 女子 84.5点 ※総合優勝チームには内閣総理大臣杯 男子優勝チームには文部科学大臣杯 女子優勝チームには厚生労働大臣杯を授与 日本新(1種目) 大会新(2種目)
5	第30回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会	2012年10月28日(日)	仙台市 38.6km 6区間		国内…27校+1チーム 38.6km (東北選抜)	優勝 立命大 2時間06分05秒 2位 佛教大 2時間07分10秒 ※優勝チームには文部科学大臣杯を授与
6	秩父宮賜杯第44回 全日本大学駅伝対校選手権大会	2012年11月4日(日)	名古屋市～伊勢市 106.8km 8区間		国内…25校+1チーム (東海選抜)	優勝 駒大 5時間15分46秒 2位 東洋大 5時間16分19秒
7	第8回全日本大学女子選抜駅伝競走					休会
8	第16回 日本学生ハーフマラソン選手権大会	2013年3月3日(日)	立川市		843名	優勝 中村 匠吾(駒沢大) 1時間02分41秒
9	第7回 日本学生20km競歩選手権大会	2013年3月10日(日)	能美市		男子…57名 女子…21名	男子優勝 高橋 英輝(岩手大) 1時間22分48秒 女子優勝 前田 浩唯(立命大) 1時間32分25秒
10	第16回 日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	2013年3月17日(日)	松江市		66名	優勝 上野 泰加(筑波大) 1時間11分30秒

(2) 公2 (育成)

No.	競技会等	期日	場所	備考
1	第18回 世界学生クロスカントリー選手権	2012年 4月9日～4月16日	ポーランド・ウッチ	男子5名、女子5名参加、男女とも団体優勝、個人設楽悠太2位
2	2012日本学生陸上競技個人選手権大会	2012年 6月22日(金)～24日(日)	平塚市総合公園 平塚競技場	チャイニーズタイペイ(TPE)の学生が参加(国際交流)
3	第24回出雲全日本大学選抜駅伝競走	2012年10月8日(月・祝)	出雲市 44.5km 6区間	アメリカ合衆国IVYリーグ 8位 2時間13分26秒(国際交流)
4	学連選抜ヨーロッパ転戦	2012年 7月12日(木)～19日(木)	ベルギー、スイス	コーチ…1名、男子選手1名 女子選手2名
5	第30回 ニューカレドニア国際マラソン大会	2012年 7月25日(水)～30日(月)	ニューカレドニア・ ヌメア市	スタッフ…3名、男子選手2名 女子選手5名 男子1位：山川雄大(帝京大) 女子1位：三井綾子(立命大)
6	青木判治杯2012国際千葉駅伝	2012年11月23日(金・祝)	千葉市	男子…4名 女子…4名 役員…5名 日本学生選抜チーム(男女混合) 5位 2時間09分31秒
7	第58回指導者会議	2012年12月8日(土)	日本青年館 501会議室	田内健二氏：「ディーン元氣選手のトレーニング実践報告」他 櫻井健一氏、矢田恵大氏の研究報告
8	第48回千葉国際クロスカントリー大会	2013年2月10日(日)	千葉市 男子12km,女子8km	男子最高 矢野 圭吾(日体大) 35分38秒(4位) 女子最高 鈴木亜由子(名大) 27分08秒(5位)
9	第27回福岡国際クロスカントリー大会	2013年2月23日(土)	福岡市 男子10km,女子6km	男子最高 大迫 傑(早大) 29分50秒(2位) 女子最高 鈴木亜由子(名大) 20分38秒(3位)
10	巡回指導	2013年 2月26日(火)～28日(木)	広島市	中国四国学連選抜合宿に、コーチ(短距離)1名派遣
11	学生審判員研修会	2回	横浜・ 日本女子体育大学	スターター、出発係、アナウンサー、跳躍審判員、投てき審判員
12	新規日級審判員資格認定		各地	講習会は地区学連が開催
13	ドーピング・コントロール・テスト	4回	各地	競技会検査を実施

(3) 公3 (調査研究)

No.	競技会等	期日・回数	場所	備考
1	2012年日本学生記録年鑑の発行	2012年3月		1000部発行
2	2012年日本陸上競技学会共催	2012年 12月15(土)～16日(日)	国際武道大学	第11回大会
3	研究調査「陸上競技研究」の発行	年4回		『陸上競技研究』(ISSN 0919-9918) 陸上競技社に委託

(4) 法人管理部門 (組織力管理)

No.	競技会等	期日・回数等	備考
1	理事会の開催	年3回	5月26日、12月8日、3月2日(5月1日決議の省略実施を含めると合計4回)
2	定時社員総会の開催	年2回	5月26日、3月2日
3	会員の入会受付	2012年度	名誉会員 49名 正会員 134名 普通会員(学生) 18,195名(男子 13,641名 女子 4,554名) ※2011年度 普通会員 17,878名(男子 13,416名 女子 4,462名)
4	会報の刊行	3回	各回 1,000部(名誉会員、正会員、役員、地区学連加盟校に配布)
5	ホームページの運営・公開	随時	事業計画、事業報告、計算書類等の公開、競技会等に関する情報提供、等
6	学生幹部役員研修会	2013年 2月28日(木)～3月2日(土)	参加対象：各地区学連二役
7	学連情報の掲載	毎月	『月刊陸上競技』に掲載

貸借対照表

平成25年 3月31日現在
公益社団法人日本学生陸上競技連合 (単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	65,752,555	44,830,530	20,922,025
未収金	1,010,000	22,750	987,250
流動資産合計	66,762,555	44,853,280	21,909,275
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	25,000,000	25,000,000	0
秩父宮妃記念基金	10,000,000	0	10,000,000
基本財産合計	35,000,000	25,000,000	10,000,000
(2)特定資産			
秩父宮妃記念基金	0	10,000,000	△ 10,000,000
退職給付引当資産	2,300,000	2,000,000	300,000
賞与引当資産	830,000	0	830,000
ユニバーシアード引当資産	0	23,000,000	△ 23,000,000
ユニバーシアード派遣事業積立資産	8,000,000	0	8,000,000
国際交流引当資産	8,000,000	8,000,000	0
創立90周年事業積立資産	1,500,000	0	1,500,000
日本インカレ90回記念大会積立資産	1,000,000	0	1,000,000
ニューカレドニア遠征積立資産	2,000,000	0	2,000,000
競技会事業引当資産	20,000,000	20,000,000	0
特定資産合計	43,630,000	63,000,000	△ 19,370,000
(3)その他固定資産			
電話加入権	56,000	56,000	0
その他固定資産合計	56,000	56,000	0
固定資産合計	78,686,000	88,056,000	△ 9,370,000
資産合計	145,448,555	132,909,280	12,539,275
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,330,018	951,525	378,493
預り金	24,511,714	24,878,871	△ 367,157
流動負債合計	25,841,732	25,830,396	11,336
2. 固定負債			
退職給与引当金	2,300,000	2,000,000	300,000
固定負債合計	2,300,000	2,000,000	300,000
負債合計	28,141,732	27,830,396	311,336
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	10,000,000	0	10,000,000
(うち特定資産への充当額)	0	10,000,000	△ 10,000,000
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	107,306,823	95,078,884	22,227,939
(うち特定資産への充当額)	25,000,000	25,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	41,332,000	53,000,000	△ 11,668,000
正味財産合計	117,306,823	105,078,884	12,227,939
負債及び正味財産合計	145,448,555	132,909,280	12,539,275

平成24年度正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

公益社団法人日本学生陸上競技連合

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	7,500	10,027	-2,527
基本財産受取利息	7,500	10,027	-2,527
特定資産運用益	95,517	105,745	-10,228
特定資産受取利息	95,517	105,745	-10,228
受取会費	34,611,800	33,506,200	1,105,600
正会員受取会費	670,000	665,000	5,000
普通会员受取会費	32,851,800	32,191,200	660,600
賛助会員受取会費	1,090,000	650,000	440,000
事業収益	76,127,400	85,662,780	-9,535,380
受取協賛金	33,600,000	33,550,000	50,000
受取負担金	5,550,000	16,662,780	-11,112,780
受取助成金	3,400,000	2,300,000	1,100,000
受取放映権料	16,800,000	16,800,000	0
受取参加料	6,341,000	6,498,500	-157,500
受取広告料	1,378,500	8,722,500	-7,344,000
入場料等売上	9,057,900	1,129,000	7,928,900
受取補助金等	100,000	100,000	0
受取補助金	100,000	100,000	0
受取寄付金	0	2,000,000	-2,000,000
受取寄付金	0	2,000,000	-2,000,000
雑収益	637,134	675,722	-38,588
受取利息	13,614	10,963	2,651
雑収益	623,520	664,759	-41,239
経常収益計	111,579,351	122,060,474	-10,481,123
(2) 経常費用			
事業費	93,710,831	114,863,862	-21,153,031
給料手当	7,648,000	4,200,000	3,448,000
退職給付費用	240,000	0	240,000
臨時雇賃金	0	473,200	-473,200
福利厚生費	1,147,896	601,195	546,701
会議費	3,030,307	5,972,057	-2,941,750
旅費交通費	27,121,834	37,325,282	-10,203,448
通信運搬費	1,242,998	1,683,300	-440,302
消耗品費	3,967,116	4,119,358	-152,242
備品費	187,683	268,388	-80,705
印刷製本費	6,004,434	7,082,827	-1,078,393
光熱水料費	139,328	123,256	16,072
食糧費	3,460,232	3,825,614	-365,382
賃借料	11,323,926	5,255,644	6,068,282
リース料	568,596	1,054,506	-485,910
諸謝金	30,000	4,785,250	-4,755,250
表彰費	1,129,779	2,007,716	-877,937
医務費	172,696	708,493	-535,797
渉外費	98,593	346,095	-247,502
委託費	8,727,987	13,053,960	-4,325,973
租税公課	359,360	821,800	-462,440
支払負担金	16,282,429	19,713,216	-3,430,787
雑費	827,637	1,442,705	-615,068
管理費	5,640,581	10,674,441	-5,033,860
給料手当	1,912,000	1,800,000	112,000
退職給付費用	60,000	0	60,000
福利厚生費	286,974	257,655	29,319
会議費	432,323	483,189	-50,866

平成24年度正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

公益社団法人日本学生陸上競技連合

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	286,678	238,281	48,397
通信運搬費	583,859	344,811	239,048
消耗品費	59,609	23,581	36,028
備品費	115,030	120,375	-5,345
印刷製本費	204,630	1,536,316	-1,331,686
光熱水料費	139,331	123,258	16,073
賃借料	743,803	1,738,056	-994,253
リース料	142,149	256,742	-114,593
渉外費	80,036	196,002	-115,966
委託費	66,887	567,337	-500,450
租税公課	359,360	798,600	-439,240
支払負担金	127,071	2,124,404	-1,997,333
雑費	40,841	65,834	-24,993
経常費用計	99,351,412	125,538,303	-26,186,891
評価損益等調整前当期経常増減額	12,227,939	-3,477,829	15,705,768
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	12,227,939	-3,477,829	15,705,768
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
諸引当金取崩益	0	53,000,000	-53,000,000
ユニバーシアード引当金取崩益	0	25,000,000	-25,000,000
国際交流引当金取崩益	0	8,000,000	-8,000,000
競技会事業引当金取崩益	0	20,000,000	-20,000,000
経常外収益計	0	53,000,000	-53,000,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	53,000,000	-53,000,000
当期一般正味財産増減額	12,227,939	49,522,171	-37,294,232
一般正味財産期首残高	95,078,884	45,556,713	59,522,171
一般正味財産期末残高	107,306,823	95,078,884	22,227,939
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	-10,000,000
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	-10,000,000
III 正味財産期末残高	117,306,823	105,078,884	12,227,939

平成24年度正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

公益社団法人日本学生陸上競技連合

(単位:円)

科目	公益目的事業					法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	公3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1)経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	7,500	7,500	0	0	7,500
基本財産受取利息	0	0	0	7,500	7,500	0	0	7,500
特定資産運用益	0	0	0	95,517	95,517	0	0	95,517
特定資産受取利息	0	0	0	95,517	95,517	0	0	95,517
受取会費	0	0	0	16,805,900	16,805,900	17,805,900	0	34,611,800
正会員受取会費	0	0	0	335,000	335,000	335,000	0	670,000
普通会员受取会費	0	0	0	16,425,900	16,425,900	16,425,900	0	32,851,800
賛助会員受取会費	0	0	0	45,000	45,000	1,045,000	0	1,090,000
事業収益	75,572,400	450,000	0	105,000	76,127,400	0	0	76,127,400
受取協賛金	33,600,000	0	0	0	33,600,000	0	0	33,600,000
受取負担金	5,100,000	450,000	0	0	5,550,000	0	0	5,550,000
受取助成金	3,400,000	0	0	0	3,400,000	0	0	3,400,000
受取放映権料	16,800,000	0	0	0	16,800,000	0	0	16,800,000
受取参加料	6,236,000	0	0	105,000	6,341,000	0	0	6,341,000
受取広告料	1,378,500	0	0	0	1,378,500	0	0	1,378,500
入場料等売上	9,057,900	0	0	0	9,057,900	0	0	9,057,900
受取補助金等	0	0	0	100,000	100,000	0	0	100,000
受取補助金	0	0	0	100,000	100,000	0	0	100,000
雑収益	20,000	0	0	0	20,000	617,134	0	637,134
受取利息	0	0	0	0	0	13,614	0	13,614
雑収益	20,000	0	0	0	20,000	603,520	0	623,520
経常収益計	75,592,400	450,000	0	17,113,917	93,156,317	18,423,034	0	111,579,351
(2)経常費用								
事業費	76,024,892	10,840,208	6,845,731	0	93,710,831	0	0	93,710,831
給料手当	6,214,000	956,000	478,000	0	7,648,000	0	0	7,648,000
退職給付費用	195,000	30,000	15,000	0	240,000	0	0	240,000
福利厚生費	932,666	143,487	71,743	0	1,147,896	0	0	1,147,896
会議費	1,940,689	1,011,014	78,604	0	3,030,307	0	0	3,030,307
旅費交通費	22,085,079	4,988,976	47,779	0	27,121,834	0	0	27,121,834
通信運搬費	753,838	454,816	34,344	0	1,242,998	0	0	1,242,998
消耗品費	3,365,780	589,415	11,921	0	3,967,116	0	0	3,967,116
備品費	66,596	121,087	0	0	187,683	0	0	187,683
印刷製本費	4,377,112	372,855	1,254,467	0	6,004,434	0	0	6,004,434
光熱水料費	97,530	41,798	0	0	139,328	0	0	139,328
食糧費	3,460,232	0	0	0	3,460,232	0	0	3,460,232
賃借料	10,595,899	684,274	43,753	0	11,323,926	0	0	11,323,926
リース料	113,719	454,877	0	0	568,596	0	0	568,596
諸謝金	0	30,000	0	0	30,000	0	0	30,000
表彰費	1,081,079	48,700	0	0	1,129,779	0	0	1,129,779
医務費	172,696	0	0	0	172,696	0	0	172,696
渉外費	66,579	16,007	16,007	0	98,593	0	0	98,593
委託費	4,501,233	13,377	4,213,377	0	8,727,987	0	0	8,727,987
租税公課	359,360	0	0	0	359,360	0	0	359,360
支払負担金	15,042,298	663,377	576,754	0	16,282,429	0	0	16,282,429
雑費	603,507	220,148	3,982	0	827,637	0	0	827,637

平成24年度正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

公益社団法人日本学生陸上競技連合

(単位:円)

科目	公益目的事業					法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	公3	共通	小計			
管理費	0	0	0	0	0	5,640,581	0	5,640,581
給料手当	0	0	0	0	0	1,912,000	0	1,912,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	60,000	0	60,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	286,974	0	286,974
会議費	0	0	0	0	0	432,323	0	432,323
旅費交通費	0	0	0	0	0	286,678	0	286,678
通信運搬費	0	0	0	0	0	583,859	0	583,859
消耗品費	0	0	0	0	0	59,609	0	59,609
備品費	0	0	0	0	0	115,030	0	115,030
印刷製本費	0	0	0	0	0	204,630	0	204,630
光熱水料費	0	0	0	0	0	139,331	0	139,331
賃借料	0	0	0	0	0	743,803	0	743,803
リース料	0	0	0	0	0	142,149	0	142,149
渉外費	0	0	0	0	0	80,036	0	80,036
委託費	0	0	0	0	0	66,887	0	66,887
租税公課	0	0	0	0	0	359,360	0	359,360
支払負担金	0	0	0	0	0	127,071	0	127,071
雑費	0	0	0	0	0	40,841	0	40,841
経常費用計	76,024,892	10,840,208	6,845,731	0	93,710,831	5,640,581	0	99,351,412
評価損益等調整前当期経常増減額	-432,492	-10,390,208	-6,845,731	17,113,917	-554,514	12,782,453	0	12,227,939
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-432,492	-10,390,208	-6,845,731	17,113,917	-554,514	12,782,453	0	12,227,939
2. 経常外増減の部								
(1)経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	432,492	10,390,208	6,845,731	-17,113,917	554,514	-554,514	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	12,227,939	0	12,227,939
一般正味財産期首残高	0	0	0	12,539,200	12,539,200	82,539,684	0	105,078,884
一般正味財産期末残高	0	0	0	12,539,200	12,539,200	94,767,623	0	117,306,823
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	0	0	0	10,000,000	0	0	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	0	0	0	10,000,000	0	0	0
III 正味財産期末残高	10,000,000	0	0	12,539,200	22,539,200	94,767,623	0	117,306,823

平成24年度財産目録

平成25年3月31日現在

公益社団法人日本学生陸上競技連合

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	219,280
預金	普通預金		39,423,357
	三井住友銀行渋谷支店		23,167,422
	三井住友銀行渋谷支店		10,113,520
	三井住友銀行渋谷支店		220,241
	三井住友銀行渋谷支店		5,922,174
	定期預金		23,000,000
	三菱東京UFJ銀行渋谷中央支店		23,000,000
	振替貯金		3,109,918
	渋谷千駄ヶ谷郵便局	運転資金として	3,109,918
未収金			1,010,000
流動資産合計			66,762,555
(固定資産)			
基本財産			35,000,000
定期預金			25,000,000
	三井住友銀行渋谷支店		12,500,000
	三井住友銀行渋谷支店	公益目的保有財産である法人運営の財源として使用している	12,500,000
秩父宮妃記念基金		公益目的保有財産である	10,000,000
川崎市債券5年			10,000,000
特定資産			43,630,000
退職給付引当資産			2,300,000
	三菱東京UFJ銀行渋谷支店		2,300,000
賞与引当資産			830,000
	三井住友銀行渋谷支店		830,000
ユニバーシアード派遣事業積立資産			8,000,000
	三菱東京UFJ銀行渋谷中央支店		8,000,000
国際交流引当資産			8,000,000
	三菱東京UFJ銀行渋谷支店		6,000,000
	川崎市債券5年		2,000,000
創立90周年事業積立資産			1,500,000
	三井住友銀行渋谷支店		1,500,000
日本インカレ90回記念大会積立資産			1,000,000
	三井住友銀行渋谷支店		1,000,000
ニューカレドニア遠征積立資産			2,000,000
	三井住友銀行渋谷支店		2,000,000
競技会事業引当資産			20,000,000
	三井住友銀行渋谷支店・定期預金		20,000,000
その他固定資産			56,000
電話加入権		公益目的事業に供している	39,200
電話加入権		法人運営に供している	16,800
固定資産合計			78,686,000
資産合計			145,448,555
(流動負債)			
未払金			1,330,018
預り金			24,511,714
流動負債合計			25,841,732
(固定負債)			
退職給付引当金			2,300,000
固定負債合計			2,300,000
負債合計			28,141,732
正味財産			117,306,823

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に疑義はございません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券

- ①時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっている。
②時価のないもの・・・移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当する事項はございません。

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当する事項はございません。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当する事項はございません。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当する事項はございません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	25,000,000	0	0	25,000,000
秩父宮記念基金	0	10,000,000	0	10,000,000
小計	25,000,000	10,000,000	0	35,000,000
特定資産				
秩父宮記念基金	10,000,000	0	△ 10,000,000	0
退職給付引当資産	2,000,000	300,000	0	2,300,000
賞与引当資産	0	832,000	0	832,000
ユニバーシアード積立資産	23,000,000	0	△ 23,000,000	0
ユニバーシアード派遣事業積立資産	0	8,000,000	0	8,000,000
国際交流引当資産	0	8,000,000	0	8,000,000
創立90周年事業積立資産	0	1,500,000	0	1,500,000
日本インカレ90回記念大会積立資産	0	1,000,000	0	1,000,000
ニューカレドニア遠征積立資産	0	2,000,000	0	2,000,000
競技会事業引当資産	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	55,000,000	21,632,000	△ 33,000,000	43,632,000
合計	80,000,000	31,632,000	△ 33,000,000	78,632,000

5. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	25,000,000	0	25,000,000	0
秩父宮記念基金	10,000,000	10,000,000	0	0
小計	35,000,000	10,000,000	25,000,000	0
特定資産				
退職給付引当資産	2,300,000	0	0	2,300,000
賞与引当資産	832,000	0	832,000	0
ユニバーシアード派遣事業積立資産	8,000,000	0	8,000,000	0
国際交流引当資産	8,000,000	0	8,000,000	0
創立90周年事業積立資産	1,500,000	0	1,500,000	0
日本インカレ90回記念大会積立資産	1,000,000	0	1,000,000	0
ニューカレドニア遠征積立資産	2,000,000	0	2,000,000	0
競技会事業引当資産	20,000,000	0	20,000,000	0
小計	43,632,000	0	41,332,000	2,300,000
合計	78,632,000	10,000,000	66,332,000	2,300,000

公益社団法人日本学生陸上競技連合 平成24年度栄章受章者

6. 担保に供している資産
該当する事項はございません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	56,000	0	56,000
合計	56,000	0	56,000

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収金	1,010,000	0	1,010,000
合計	1,010,000	0	1,010,000

9. 保証債務
該当する事項はございません。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当する事項はございません。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
平成24年度事業運営補助金	公益財団法人 日本陸上競技連盟	0	100,000	100,000	0	一般正味財産
合計		0	100,000	100,000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当する事項はございません。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当する事項はございません。

14. 関連当事者との取引の内容
該当する事項はございません。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当する事項はございません。

16. 重要な後発事象
該当する事項はございません。

17. その他
該当する事項はございません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している

2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,000,000	300,000			2,300,000
合計	2,000,000	300,000	0	0	2,300,000

1. 功労章（栄章に関する規程 第4条）

- (ア) この法人の運営に著しい功労のあった者
- (イ) 地区学連の運営に著しい功労のあった者
- (ウ) 数次にわたり各種の競技会において、学生競技者の育成に技術的貢献のあった者
- (エ) 国際的友好の増進のために功労のあった者

なお、年齢は平成25年3月31日現在

地 区	氏 名	役 職	年 齢	出身校	区分
北海道	中川 秀樹	北海道学連協力コーチ	54	順天堂大学	(イ)
東 北	植木 章三	東北学連総務委員長・監事・強化委員・ 連盟支部（宮城）運営委員	51	筑波大学	(イ)
関 東	上田 誠仁	関東学連強化副委員長	54	順天堂大学	(イ)
関 東	高木 直正	順天堂大学障害ブロックコーチ	64	順天堂大学	(ウ)
北信越	藤瀬 武彦	北信越学連評議員	50	早稲田大学	(イ)
東 海	有田 哲治	東海学連評議員・強化委員	51	順天堂大学	(イ)
関 西	津野 洋	関西学連副会長	65	京都大学	(イ)
中国四国	野崎 武司	中国四国学連評議員	50	広島大学	(イ)
九 州	遠藤 勝恵	九州学連監事	62	東京教育大学	(イ)
九 州	藤光 康宏	九州学連監事	51	九州大学	(イ)
連 合	山下 誠	日本学連強化委員会幹事	50	筑波大学	(ア)
連 合	兼本 哲也	熊本陸上競技協会会長	81	日本体育大学	(ア)

2. 勲功章（栄章に関する規程 第4条）

- (ア) オリンピック競技大会に学生として出場し、入賞した者
- (イ) ユニバーシアード競技大会に出場し、第3位までに入賞した者
- (ウ) 世界選手権大会に学生として出場し、入賞した者
- (エ) 学生時代に世界記録を更新した者

※勲功章は、2012年9月開催の第81回日本インカレにおいて贈与式を行いました。

地区	氏名	競技会、種目及び成績	在籍校/出身校	区分
関東	山縣 亮太	第30回オリンピック競技大会 (2012/ロンドン) 4×100mR 5位入賞	慶應義塾大学	(ア)
関東	飯塚 翔太	第30回オリンピック競技大会 (2012/ロンドン) 4×100mR 5位入賞	中央大学	(ア)

第5回中国四国選抜合宿報告書

- 主催 中国四国学生陸上競技連盟
- 日時 平成25年2月26(火)～28日(木)
- 場所 広島県総合グランド
- 参加人数
 - 短距離 男：9名 女：7名
(100m、200m、400mより選抜)
 - 長距離 男：10名 女：9名
(5000m、10000m、3000mSCより選抜)
 - 三段跳 男：7名 女：3名
 - やり投 男：5名 女：6名
計56名(+学連員5名)

5. 日程

第1日目

12:30	集合(広島スタジアム正面玄関前) 開会式(広島スタジアム第4会議室)
13:30	練習開始
16:30	練習終了
17:00	自由時間
18:30	夕食 ～入浴など～
22:30	就寝

第2日目

7:00	起床 朝食
9:00	練習開始
12:00	練習終了 ～休憩・昼食～
14:30	練習開始
17:30	練習終了
18:00	夕食 ～入浴など～
22:30	就寝

第3日目

7:00	起床 朝食
9:00	練習開始
11:30	練習終了 閉会式
12:00	解散

【合宿全体を通して】

大きな滞りなく良い選抜合宿となった。選手にとっては普段と異なるメニューや指導者のもとで、新しい発見やより専門性の強い練習ができた。昨年はやや寒い中での練習であったが、今年は天候にも恵まれ、3日間という短い期間の中で十分に練習をすることができた。また、短距離(100m、200m)の講師には大東文化大学の佐藤真太郎先生を派遣コーチとしてきていただき、地域の壁を越えて、選手の競技力向上のために十二分に効果があった。来年度や今後においても、選手の競技力向上のために、他地区のコーチを招待し、技術指導などを選手が受けられる機会を増やしていくよう検討していく必要がある。



2013日本学生陸上競技個人選手権大会に向けて ～特に学生幹事と競技委員会の準備状況～

競技委員長 阿保雅行

標記大会は2013年6月21日～23日にShonan BMW スタジアム平塚で、22日にハンマー投が東海大学湘南校舎陸上競技場で開催されます。大会運営の準備については、日本学連の学生幹事(緒方幹事長、板東副幹事長、小林常任幹事)と競技委員会が連携・協力して、これまで大会実施要項に沿って競技運営のあり方を検討し、各種の業務を計画的に遂行してきました。そして、今後なすべき業務についても検討しております。

本稿では、とりわけ6つの視点(大会のコンセプト、EPプラン、競技規則、練習、学生審判員の研修会、競技運営に関する調査研究)に絞って、簡潔にお知らせします。これらから大会に関する競技運営のイメージが少しでも描けて、競技(レースまたは試技)の動機づけに寄与できれば幸いです。

1) **大会のコンセプト**: 学生幹事の要望から、大会のコンセプトは「個人と個人の勝負」と「自己記録への挑戦」です。これらのコンセプトが実現されるためには、競技者が最大限の能力を発揮できる競技運営が重要になります。

2) **EPプラン**: 注目されている競技者のデータを収集するとともに、トラック競技やフィールド競技、表彰等に関する進行表を作成します。注目されている競技者をイメージした選手紹介、実況(描写)、ライブリザルト、表彰、インタビュー等に関するマニュアルを作成します。より具体的には、次の視点で運営が検討されています。① **選手紹介**: 出場する選手同士の過去の対戦成績やエピソード等の紹介、② **インタビュー**: 優勝した競技者(日本新、学生新、大会新、自己記録を大幅に更新等)のインタビュー、③ **ライブリザルト**: 競技者やコーチ、観客等に対するリアルタイムの結果発表、④ **競技場全体の雰囲気づくり**: トラック競技とフィールド競技の兼ね合いを重視し、アナウンサー・進行・当該審判員・観客等による注目競技者の記録挑戦のための雰囲気づくり。

3) **競技規則**: とりわけ「不適切行為」と「不正スタート」についてお知らせします。

① スタートに関連する「不適切行為」については、

2013年度日本陸上競技連盟競技規則162条5(国際)を適用します。「位置について」または「用意」の合図で、競技者は一斉にそして遅れることなく完全な最終スタート姿勢をとらなければなりません。以下のようなときは「不適切行為」になります。例えば、信号器発射の前に正当な理由もなく手を挙げたり、音声その他の方法で他の競技者の妨害をしたときなどです。1回目の不適切行為は警告、2回行くと失格になります。そして、その大会のその後の競技に参加できません(145条2)。また、②「不正スタート」については、162条7(国際)を適用します。不正スタートをした競技者は1回目で失格となります。なお、不正スタート発見装置なしで実施します(予定)。

4) **練習**: 大会前日と大会期間中に分けます。① 大会前日(20日)は、時間帯と種目・用器具に制限がありますが、Shonan BMW スタジアム平塚で練習できます。② 大会期間中(21日～23日)は、原則として大原高校グラウンド及びShonan BMW スタジアム平塚の雨天走路で練習できます。また、競技開始前に本競技場内トラックで練習することができます。これらの詳細については競技注意事項を参照してください。なお、本競技場で大会期間中に練習を行う場合、**商標**については、競技者は「競技会における広告及び展示物に関する規程」を遵守し、基準を超える商標についてはテープ等で隠してください。

5) **学生審判員の研修会**: 6月1日(土)午後1時から2時半まで、Shonan BMW スタジアム平塚の会議室で学生審判員(全体で約60名)を対象として実施します。競技委員会の委員が講師(宮田委員: 跳躍、山田委員: 投てき、小松委員: アナウンサー、鎌倉副委員長: スターター兼リコーラー・出発係)です。

6) **競技運営に関する調査研究**: 以下の調査等を行って競技会運営の評価に役立てる予定です。① 競技者、学生審判員、学生補助員、(社会人)審判員を対象とする競技運営に関する満足度アンケート調査。② トラック競技における監察ビデオの撮影調査。③ スタートに係わるビデオ撮影。

注) 主要文献: 学連情報2013年第6号(月刊陸上競技、6月号、p188)

|平成25年度(2013年度)会員

正会員 135名 普通会員 16,216名 賛助会員 6名、1団体 名誉会員 48名

普通会員数の年度ごとの推移

平成25年5月17日現在

単位：人

年度	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国四国	九州	合計	前年比	5年前比	10年前比
2013	521	850	6,941	590	1,520	2,954	1,567	1,273	16,216	-1,958	-441	1,633
2012	640	910	7,273	832	1,826	3,360	1,736	1,597	18,174	296 ↑	1,841	3,969
2011	711	933	7,065	834	1,756	3,236	1,723	1,620	17,878	637 ↑	1,664	3,929
2010	688	919	6,792	821	1,686	3,106	1,653	1,576	17,241	389 ↑	1,420	3,374
2009	715	878	6,641	879	1,611	3,000	1,630	1,498	16,852	195 ↑	1,626	2,920
2008	754	952	6,626	822	1,480	2,923	1,598	1,502	16,657	324 ↑	2,074	
2007	651	977	6,497	799	1,426	2,870	1,520	1,593	16,333	119 ↑	2,128	
2006	651	1,005	6,452	743	1,493	2,829	1,471	1,570	16,214	393 ↑	2,265	
2005	636	1,041	6,258	763	1,429	2,728	1,441	1,525	15,821	595 ↑	1,954	
2004	599	984	6,118	751	1,321	2,605	1,410	1,438	15,226	643 ↑	1,294	
2003	587	885	5,864	749	1,257	2,519	1,311	1,411	14,583	378 ↑		
2002	604	841	5,663	755	1,184	2,478	1,259	1,421	14,205	256 ↑		
2001	617	811	5,604	685	1,123	2,486	1,258	1,365	13,949	82 ↑		
2000	638	789	5,503	685	1,122	2,430	1,246	1,454	13,867	-65 ↓		
1999	642	798	5,496	706	1,134	2,442	1,254	1,460	13,932			

2013年度	男子	女子	合計	前年比	比率(%)
北海道	403	118	521	-119	3.21
東北	621	229	850	-60	5.24
関東	5,392	1,549	6,941	-332	42.80
北信越	449	141	590	-242	3.64
東海	1,091	429	1,520	-306	9.37
関西	2,080	874	2,954	-406	18.22
中国四国	1,202	365	1,567	-169	9.66
九州	953	320	1,273	-324	7.85
全体	12,191	4,025	16,216	-1,958	

2012年度	男子	女子	合計
北海道	490	150	640
東北	662	248	910
関東	5,603	1,670	7,273
北信越	637	195	832
東海	1,321	505	1,826
関西	2,366	994	3,360
中国四国	1,335	401	1,736
九州	1,208	389	1,597
全体	13,622	4,552	18,174

|平成25年度 賛助会員 (5月25日現在 順不同、敬称略)

ご入会ありがとうございました

小松 邦江 藤井 英嘉 佐藤 良男 関 隆史
入江 毅 宮田 英明 マット株式会社

賛助会員募集中

この法人の目的及び活動に賛同し賛助する個人又は団体の方は、是非ご検討ください。

〈年会費〉 賛助会員 10,000円(1口)

※年会費は毎年納入していただく必要があり、年度内(3月31日)まで有効となります。

※本法人への賛助会費は寄付として扱われ、所得税等の納税控除の対象となります。

〈特典〉 ・会報への氏名・団体名の記載

・天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会への無料入場

〈入会手続きについて〉

①申込書(個人・団体)に必要事項を記入し、本法人へ郵送又はFAXしてください。



②本法人の指定銀行口座へ、年会費をお振込み願います。



③ご入金を確認でき次第、本法人の賛助会員として登録させていただきます。

何かご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

公益社団法人日本学生陸上競技連合 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階

TEL 03-5304-5542 Email juauj@joy.ocn.ne.jp

FAX 03-5304-5569 URL http://www.iuau.jp

|編|集|後|記|

◆公益社団法人として新たにスタートし、1年が経ちました。従来の公益法人は、公益社団・財団法人もしくは一般社団・財団法人に本年の11月30日までに内閣府もしくは都道府県に移行申請しなければならないことになっており、まだ約2,400法人が移行申請をしていないと聞いております。110年ぶりの公益法人制度改革もいよいよ終盤にかかっておりますが、いろいろ問題をかかえている法人が多いのではないかと数字から読み取れます。公益法人の運営は、一般法人に比べ、制度上の制約もあり簡単ではありませんが、これからも向上と進展を旗印に学生陸上界全体で盛り上げていければ良いと思っております。

◆7月6日より、ユニバーシアードが開催されます。場所は、ロシアのカザンという都市で、モスクワから東へ800kmのところにあります。日本からは、なんとヨーロッパを経て、さらにモスクワ経由で入ります。長時間の移動となるため、コンディション調整も重要なポイントと思われます。今回

の派遣準備においては、前回の中国・深圳大会の時よりも開催が1ヵ月以上も早いことから、JOCの求める手続きと選考に係る作業が噛み合わず、特例扱いしていただくことが多くなりました。2年後の韓国・光州大会も7月開催と聞いておりますが、もっとスムーズに対応できるよう今から備えたいものです。一人でも多くの日本選手が表彰台に上がれるよう心から祈っております。

◆いよいよ全日本大学女子選抜駅伝が復活します。いろいろな問題から休会しておりましたが、フジテレビジョンの協力で4年ぶりの開催となります。世界文化遺産となる富士山の麓、富士宮市と富士市が舞台です。本年に限り開催日は12月23日となりますが、競技会の価値を上げるために、来年以降の開催は12月31日にすることが大きな目標となっております。これから急ピッチで準備が進むものと思いますが、永年継続させるためにも是非成功させたいものです。

事務局長

「陸上競技研究」購読のご案内



第 92 号
2013, No.1
2013 年 3 月発行

公益社団法人 日本学生陸上競技連合は季刊研究誌『陸上競技研究』を発行しています。購読会員として入会ご希望の方は、年会費 (6,000 円) を下記へ郵便振替にてご送金ください。

口座記号番号 00190-4-142923

加入者名 (株)陸上競技社 陸上競技研究

通信欄に「何号から 1 年間」と必ず明記してください。

バックナンバーについては(株)陸上競技社 (TEL03-5215-8881) にお問い合わせください。